

令和5年度

# 学生募集要項

(学校推薦型選抜 (一般))

教員養成課程

〔札幌校・旭川校・釧路校〕

国際地域学科

〔函館校〕

芸術・スポーツ文化学科

音楽文化専攻

〔岩見沢校〕

(学校推薦型選抜 (地域指定))

教員養成課程

〔釧路校〕

令和4年9月

北海道教育大学

大学情報コード



<http://daigakuje.jp/hokkyodai/>

## 北海道教育大学教育学部教員養成課程の入学者受入方針（アドミッドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）  
（令和2年5月21日改正）  
（令和4年3月24日改正）  
（令和4年6月17日改正）

（求める学生像）

教員養成課程では、子どもたちとのふれあいを大切にす豊かな人間性を育むことを第一として、現代の学校教育現場における様々な課題に対応できる幅広い教養と確かな学力を身に付け、地域社会に積極的に貢献できる教員の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 子どもが好きで、教員（養護教諭を含む。）となる強い意欲をもち、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有している人
- 教育に関する専門性を身に付けるために必要な、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を有している人
- 学校と地域社会との関わりに関心があり、地域を支える人や地域の文化・自然等に興味をもち、将来教員として地域社会の教育と文化の伝達・創造に貢献しようとする人
- 現代的な教育課題に興味・関心があり、教科を超えた総合的・学際的な教育に意欲をもつ人

また、教員養成課程に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 高等学校等において履修した教科の基礎的学力
- 自らが専攻しようとする教科等に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 上記1及び2を通して、学校と地域社会との関わりや現代的な教育課題への関心を深めるとともに、主体性をもち、多様な価値観や考えをもつ人々と協働して学ぶ態度

（入学者選抜の基本方針）

教員養成課程の入学者選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、入学者に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び教職に就く意欲については、入試区分ごとに別表1のようになります。

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力及び表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（教科試験（専攻・分野）については、面接や実技）」の成績
- 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

また、教職に就く意欲等については、「学びの履歴と志望理由書」の内容を加点して評価します。

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力及び判断力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績

(2) 「表現能力（伝達表現能力）」、目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質、教師としての基本的資質等を有していることについては、「面接」の結果

- 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

なお、教職に就く意欲等については、面接のための資料である「学びの履歴と志望理由書」の内容を参考に評価します。

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- 教員となる強い意欲、将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする姿勢及び豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有していることについては、「面接」の結果

(2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、自己推薦書」、「調査書」等の提出書類の内容

また、大学において専門分野を学ぶための十分な技能及び表現力を有していることについては、専攻又は分野により「実技」を含めて判定します。

なお、高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識を確認するため、「大学入学共通テスト」の受験を課します。

【学校推薦型選抜（地域指定：釧路校）】

学校推薦型選抜（地域指定：釧路校）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

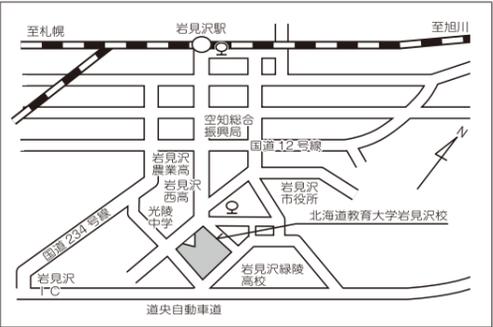
（北海道日高振興局、宗谷総合振興局、オホーツク総合振興局、十勝総合振興局、釧路総合振興局、根室振興局管内の高等学校等の卒業見込みの者が選抜対象）

- へき地・小規模校教育等に高い関心及び強い意欲、将来教員として上記振興局管内に定着する意思並びに豊かな人間関係を築くための高いコミュニケーション能力を有していることについては、「個人面接」及び「集団面接（討論）」の結果

(2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、自己推薦書」、「調査書」等の提出書類の内容

なお、高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識を確認するため、「大学入学共通テスト」の受験を課します。

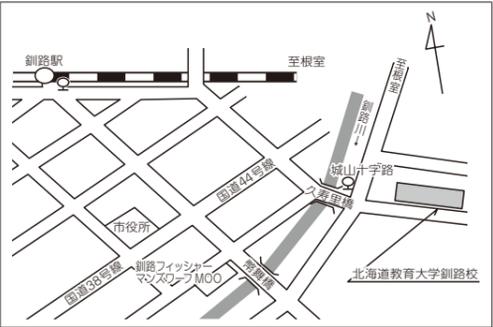
### 岩見沢校



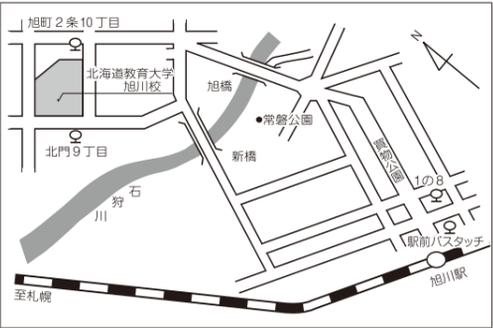
### 函館校



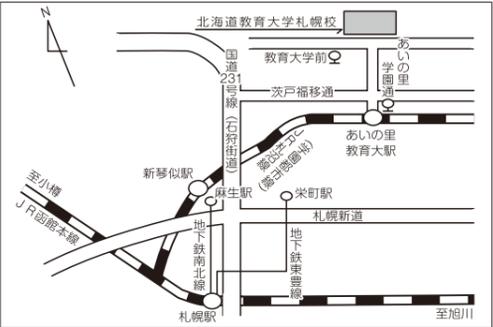
### 釧路校



### 旭川校



### 札幌校



## 試験会場位置図

名 称 北海道教育大学札幌校

所在地 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号

交通案内

○JR「学園都市線」の「あいの里教育大駅」から徒歩約20分（約1.4km）  
札幌駅→あいの里教育大駅 約30分

○地下鉄－バス

地下鉄南北線の「麻生駅」から中央バス「麻<sup>㊤</sup>あいの里教育大線」で約32分、「あいの里4条5丁目」又は「教育大学前」下車、徒歩2分  
地下鉄東豊線の「栄町駅」から中央バス「栄<sup>㊤</sup>栄町・教育大線」で約27分、「教育大学前」下車、徒歩2分

名 称 北海道教育大学旭川校

所在地 旭川市北門町9丁目

交通案内

○「JR旭川駅（駅前バスタッチのりば<sup>㊤</sup>）」から旭川電気軌道バス（<sup>㊤</sup>旭町・春光線）で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分

○「1条通8丁目（1の8のりば<sup>㊤</sup>）」から旭川電気軌道バス（<sup>㊤</sup>旭町線）で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分

○「1条通8丁目（1の8のりば<sup>㊤</sup>）」から旭川電気軌道バス（<sup>㊤</sup>新橋・北門線）で15分、「北門9丁目」下車、徒歩5分

名 称 北海道教育大学釧路校

所在地 釧路市城山1丁目15番55号

交通案内

JR「釧路駅」からくしろバス（<sup>㊤</sup>武佐線、<sup>㊤</sup>別保線）で10分、「城山十字路」下車、徒歩4分

名 称 北海道教育大学函館校

所在地 函館市八幡町1番2号

交通案内

○JR「函館駅」から函館バス（82系統）で約10分、「宮前町」下車、徒歩10分

○JR「函館駅」から函館バス（47系統）で約20分、「教育大通」下車、徒歩10分

○函館空港より車で約25分

名 称 北海道教育大学岩見沢校

所在地 岩見沢市緑が丘2丁目34番地1

交通案内

JR「岩見沢駅」から中央バス（かえで団地循環線（東高先回り：系統1）、南町・春日循環線（市役所先回り：系統10）、万字線（系統13、14、15）、岩見沢栗山線（教大前経由：系統27））で約10分～15分、「教大前」下車、徒歩2分

※ 運行時刻等は、各自でお調べください。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【教員養成課程（札幌校、旭川校、釧路校）】

学力の3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試区分	入学選抜方法	教職に就く意欲	学力の3要素			備考
			A	B	C	
一般	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
	個別学力検査		○	○		
	学びの履歴と志望理由書* 調査書*	○	◇	◇		
選	面接 (実技) (面接(口頭試問含む。))		○	○	○	
	(実技に関する活動歴調査書)*		◇			
	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
抜	面接(口頭試問含む。)		○	○	○	札幌校、旭川校
	面接		○	○	○	釧路校
	学びの履歴と志望理由書* 調査書*	◇	◇	◇		
総合型選抜	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
	グループ討論 レポート		○	○	○	
	面接(口頭試問含む。)		○	○	○	旭川校
学校推薦型選抜	面接		○	○	○	札幌校、釧路校
	志望理由書* 調査書*	◇	◇	◇		
	(実技検査) (実技に関する活動歴調査書)*		○	○		
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目を受験することが要件
	面接(口頭試問含む。)		○	○	○	札幌校、旭川校
	面接		○	○	○	釧路校
学校推薦型選抜	推薦書*	◇	◇	◇		
	自己推薦書* 調査書*	◇	◇	◇		
	(実技検査) (集団面接(討論))		○	○	○	
学校推薦型選抜	(実技に関する活動歴調査書)*		◇			
	(実技に関する活動歴調査書)*		◇			

(注) ※は、提出書類を示す。  
( )は、特定の分野等が行う選抜方法を示す。

【総合型選抜（教員養成特別入試）】

総合型選抜（教員養成特別入試）については、単なる知識量だけではなく、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性など、筆記試験だけでは測定できない側面、これまでの活動、学習の成果等も含めて、総合的な能力を以下の検査等により総合して判定します。

(1) 第一次検査

学習成果（学力の3要素）等全般、教職に就く意欲等については、「調査書」及び「志望理由書」により評価します。

(2) 第二次検査

教職を目指す上で必要な思考力、判断力、主体性及び協働性については、「講義」を受講し、それに基づく「グループ討論」及び「レポート作成」により評価します。くわえて、教員への興味・関心及び教職への志望意欲について、「面接」により評価します。

(3) 大学入学共通テスト

高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力及び判断力を有していることについては、「大学入学共通テスト」により評価します。  
なお、大学において専門分野を学ぶための十分な技能及び表現力を有していることについては、専攻又は分野により第二次検査で「実技」を含めて評価します。

【特別選抜（帰国子女入試）】

外国で学校教育を受け、異なった教育制度、社会、文化等に接した学生を受け入れることは、それ自体が国際化の一環となるとともに、一般学生に対しても多様な文化的刺激を与え、国際感覚を豊かにする機会となります。このような趣旨により、帰国子女に対して「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜（社会人入試）】

経験を積んだ社会人が教員を目指したり大学での学問研究を通じて新たな可能性を発見したりするため、「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜（私費外国人入試）】

国際化時代の進展とともに、外国人留学生の受入れは、大学にとってもますます重要な課題となっています。特にアジア諸国からの留学希望者は、飛躍的に増加しています。こうした要請に応えるため、私費外国人留学生に対して、「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜（編入学入試）】

短期大学卒業生、高等専門学校卒業生、大学卒業生及び大学在学者を対象として、編入学試験を実施しています。

附 記

この方針は、令和4年6月17日から施行する。

## 北海道教育大学教育学部国際地域学科の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

- （令和元年6月25日制定）  
（令和2年5月21日改正）  
（令和4年3月24日改正）

（求める学生像）

国際地域学科では、国際的な幅広い視野をもって、身近な地域を活性化・再生できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

○地域協働専攻

- 1 国際的視野に立った幅広い教養、豊かな人間性を身に付けようとする意欲のある人
- 2 地域学の基礎的知識とそれを構成する学問領域に関する専門的知識を身に付けようとする意欲がある人
- 3 地域学的問題を俯瞰的に捉え、国際的視野をもって考える態度を身に付けようとする意欲がある人
- 4 地域の活性化・再生に、主体的に行動し取り組む姿勢を身に付けようとする意欲がある人
- 5 地域社会の課題の調査・研究方法と、その成果を国際的視野をもって他者に伝えるコミュニケーションの能力と方法を身に付けようとする意欲がある人
- 6 大学での学修に必要なバランスの取れた学力並びに特定の教科に偏らない理解力、思考力及び表現力を有している人又は外国語等の特定科目に優れた学力を有している人

また、地域協働専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科等においてバランスの取れた基礎的な学力、理解力、思考力及び外国語の優れた知識・技能
- 2 地域学的問題を俯瞰的に捉え、国際的な視野をもって、主体的に地域の活性化・再生への関心を深めていく態度

○地域教育専攻

- 1 国際的視野に立った幅広い教養、豊かな人間性を身に付けようとする意欲がある人
- 2 初等教育と特別支援教育に関する専門的知識と技能を身に付けようとする意欲がある人
- 3 子どもの教育問題を俯瞰的に捉え、国際的視野をもって考える態度を身に付けようとする意欲がある人
- 4 地域の教育課題を理解し、学校教育を通して課題解決に取り組む主体的姿勢を身に付けようとする意欲がある人
- 5 地域の教育課題を調査・研究し、その成果を国際的視野をもって他者に伝えるコミュニケーションの能力と方法を身に付けようとする意欲のある人
- 6 大学での学修に必要なバランスの取れた学力及び特定の教科に偏らない理解力・思考力・表現力を有している人

また、地域教育専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科等においてバランスの取れた基礎的な学力、理解力、思考力等
- 2 子どもの教育問題を俯瞰的に捉え、国際的な視野をもって、主体的に地域の教育課題への関心を深めていく態度

（入学者選抜の基本方針）

国際地域学科の入学者選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、受入学生に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び専門分野を学ぶ意欲については、入試区分ごとに別表2のようになります。

○地域協働専攻

【一般選抜・前期日程】

- 一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- （1）高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力、表現力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
  - （2）大学入学共通テストでは検出し難い理解力、思考力、表現力等を有していることについては、特定の教科に偏らない内容である「個別学力検査（総合問題）」の成績
  - （3）学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- （1）高等学校等において履修した教科等の学力及び教育や関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- （2）目的意識、入学後の学習意欲、専攻に適した資質等を有していることについては、「面接」の結果
- （3）学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- （1）各グループにおいて、以下に示す能力の獲得に必要な十分な意欲、資質及び適正を備えていることについては、「面接」の結果  
（国際協働グループ）  
異なる国や民族・地域・文化・社会との間での協調的かつ現実的かつ国際協働の現場において必要となるグローバルな実践的課題解決能力

#### (地域政策グループ)

地域行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団、企業などとの多様なネットワークを構築する能力及び地域の課題解決に取り組む実行力

#### (地域環境科学グループ)

地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身に付けようとする態度、探究力及び批判的な思考力

- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果(学力の3要素)等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、「自己推薦書」、「調査書」等の提出書類  
さらに、国際的な視野をもつために必要な語学力については、所定の外国語資格のスコア又は等級を保有する者を加えて評価します。

#### ○地域教育専攻

##### 【一般選抜・前期日程】

- 一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力、表現力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 「表現能力(伝達表現能力)」については、「個別学力検査(小論文)」の成績
- (3) 学習成果(学力の3要素)等全般については、「調査書」の内容

##### 【一般選抜・後期日程】

- 一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力、判断力、表現力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 目的意識、入学後の学習意欲、専攻に適した資質、教師としての基本的資質等を備えていることについては、「面接」の結果
- (3) 学習成果(学力の3要素)等全般については、「調査書」の内容  
なお、教職に就く意欲等については、面接のための資料である「学びの履歴と志望理由書」の内容を参考に評価します。

##### 【学校推薦型選抜(一般)】

学校推薦型選抜(一般)については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 子どもの教育問題について国際的視野をもって考え、地域の教育課題を理解し、学校教育を通して課題解決に取り組む姿勢を身に付けようとする意欲を有していることについては、「面接」の結果
- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果(学力の3要素)等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、「自己推薦書」、「調査書」等の提出書類

また、国際的な視野を持つために必要な語学力については、所定の外国語資格のスコア又は等級を保有する者を加えて評価します。

※特別選抜(帰国子女入試、社会人入試、編入学入試)については、教員養成課程と同様の方法等により実施しています。

#### 附 記

この方針は、令和4年4月1日から施行する。

別表2

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【国際地域学科（函館校）】

入試区分	入学選抜方法	専門科目を学ぶ意欲	学力の3要素			備考
			A	B	C	
一般	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
	個別学力検査		○	○		
	調査書*		◇	◇	◇	
	大学入学共通テスト 面接（口頭試問含む。）		○	○	○	指定する教科・科目 地域教育専攻
選抜	面接		○	○	○	地域協働専攻
	学びの履歴と志望理由書*		◇			地域教育専攻
	調査書*		◇	◇	◇	
	面接		○	○	○	
学校推薦型選抜	推薦書*		◇	◇	◇	
	自己推薦書*		◇	◇	◇	
	調査書*		◇	◇	◇	
	英語検定等の証明書*		○			

(注) ※は、提出書類を示す。

北海道教育大学教育学部芸術・スポーツ文化学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）  
（令和2年5月21日改正）  
（令和4年3月24日改正）

（求める学生像）

芸術・スポーツ文化学科では、芸術・スポーツ文化を多面的に追究し、地域の活性化及び文化振興に貢献できる人材の養成を目指していることから、「芸術文化、スポーツ文化がもつ多面的な価値を追究し、その効用を様々な文化活動を通して、人々の生活に還元し、地域の活性化や心豊かな生活環境の創造に関わろうとする人」を求めます。

○芸術・スポーツビジネス専攻

芸術・スポーツビジネス専攻では、芸術・スポーツ文化を生かしたマネジメントの知識や組織の運営に関する実践的な能力を有し、芸術・スポーツを通して地域活性化やまちづくりに貢献するとともに、新しい文化ビジネスを創造できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 芸術・スポーツのビジネス研究を通じて、芸術・スポーツ文化振興に貢献することを旨とする人
- 2 芸術・スポーツ活動の企画や運営などを創造的に展開できる資質をもつ人
- 3 国際的な芸術・スポーツビジネスへの関心を持ち、柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人

また、芸術・スポーツビジネス専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 社会及び地域における課題への関心並びにそれらの課題を解決するための論理的思考力
- 2 芸術・スポーツビジネスに関する知識を主体的に学ぶ態度

○音楽文化専攻

音楽文化専攻では、音楽文化による地域の活性化を促すことができるとともに、音楽に関する専門的な知識、技法及び技能を持ち、自らの創作活動を発信し、音楽文化を地域社会に広める人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 音楽文化全般を深く愛する熱意のある人
- 2 人の心に音楽のメッセージを届けることについて、積極的に展開したいと思う人
- 3 演奏や創作などの音楽活動を展開できる優れた資質をもつ人

また、音楽文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した音楽の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な音楽の知識及び演奏能力並びに主体性をもって学ぶ態度

#### ○美術文化専攻

美術文化専攻では、美術文化を地域社会に広め、美術による地域の活性化を促すことができ、表現者としても美術に関する深い造詣、確かな技術・諸問題を切り拓く構想力を有する人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 美術文化に対する関心や探究心を有し、基礎的な造形能力や探究心に富む人
- 2 美術に関するあらゆる事柄について研究を重ね、社会と芸術文化の新しい関わり方を提案・実践することに意欲的な人
- 3 美術に関する専門知識、高い技能や表現力を身に付け、社会をリードする指導者となることを目指す人

また、美術文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した美術科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な美術の知識及び実技能力並びに主体性をもって学ぶ態度

#### ○スポーツ文化専攻

スポーツ文化専攻では、スポーツ文化を地域社会に広め、スポーツによる地域の活性化を促すことができるとともに、スポーツに関する科学的知識、技能を有し、スポーツ指導ができる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 スポーツ文化への関心や探究心をもち、基礎的な体力・運動能力を有し、それらの向上を目指す人
- 2 スポーツ競技能力の向上や指導力育成、そして、運動・スポーツの科学的探究を通じて文化創造に貢献することを旨とする人
- 3 野外環境教育を通じて、自然と人間の関係を理解し、その良好な在り方の探究・実現に向けて行動することを旨とする人

また、スポーツ文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した保健体育科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 スポーツ・コーチング科学コースにおいては、専門性の高い授業内容に適応できる基礎的

#### なスポーツの知識及び技能

アウトドア・ライフコースにおいては、自然と人の関係や環境をめぐる諸問題についての基礎的な知識及び多様な価値観

- 3 上記1及び2に基づいた思考力並びに主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

#### (入学者選抜の基本方針)

芸術・スポーツ文化学科の入学者選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、受入学生に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び専門分野を学ぶ意欲については、入試区分ごとに別表3のようになります。

#### ○芸術・スポーツビジネス専攻

##### 【一般選抜・前期日程】

- 一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
  - (2) 社会及び地域における芸術・スポーツのビジネス研究並びに文化振興への関心度、創造性及び企画・運営に必要な問題発見・課題解決能力（発想・思考・情報活用・判断・表現・言語・構成）については、「個別学力検査等（実技）」の成績
  - (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

##### 【一般選抜・後期日程】

- 一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
  - (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果、「調査書」及び「活動実績書」の内容

##### 【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で芸術・スポーツビジネスを学ぶためにグローバルな視点及び計画性、新たな価値を生む創造性並びに表現力を有していることについては、「面接」の結果
- (2) 芸術・スポーツビジネスを学ぶための計画性及び意欲については、「調査書」、「自己推薦書」及び「学修計画書」の内容

#### ○音楽文化専攻

##### 【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

- 一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
  - (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
  - (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で音楽を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」の成績
- (2) 音楽を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができ、協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、「自己推薦書」及び「調査書」の内容

○美術文化専攻

【一般選抜・前期日程】

- 一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
  - (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

- 一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
  - (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
  - (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で美術を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」又は「小論文」の成績
- (2) 美術を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「自己推薦書」の内容及び「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、「ポートフォリオ」及び「調査書」の内容

○スポーツ文化専攻

【一般選抜・前期日程】

- 一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び小論文）」の成績
  - (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

- 一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。
- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び面接）」の成績
  - (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) スポーツ文化を専門に学ぶために必要な知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「小論文」の成績、「面接（口頭試問含む）」の結果
- (2) スポーツ文化を専門に学ぶための意欲や技能及び表現力を有していることについては、「自己推薦書」及び各種「活動歴」の内容
- (3) スポーツ文化を専門に学ぶためにふさわしい主体的な態度及び豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「面接（口頭試問含む）」の結果

※特別選抜（帰国子女入試、社会人入試、編入学入試）については、教員養成課程と同様の方法等により実施しています。

附 記

この方針は、令和4年4月1日から施行する。

別表3

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【芸術・スポーツ文化学科 芸術・スポーツビジネス専攻（岩見沢校）】

学力の3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試区分	入学選抜方法	専門科目 学点換算	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一 般 選 抜	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
	実技検査	○	○	◇		
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○		
	調査書*		◇	◇	◇	
選 抜	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○		
	活動実績書*	○	○	○		
	調査書*		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	面接（口頭試問含む。）	○	○	○		
	プレゼンテーション	○	○	○		
	自己推薦書*	○	○	◇		
	学修計画書*	○	○	○		
	調査書*		◇	◇	◇	

(注) ※提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻（岩見沢校）】

学力の3要素		A：知識・技能
		B：思考力・判断力・表現力
		C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試区分	入学選抜方法	専門性を学ぶ意欲	学力の3要素			備考
			A	B	C	
一	前期日程	大学入学共通テスト	○	○		指定する教科・科目
		実技検査 調査書*	○	○		
一般	後期日程	大学入学共通テスト	○	○	◇	指定する教科・科目
		実技検査 面接 調査書*	○	○	○	
選	後期日程	面接 調査書*	◇	◇	◇	
		実技検査又は小論文		○	○	
抜	面接 調査書*	実技検査	○	○		
		(作品審査) 推薦書*	○	○		作曲コース
選	自己推薦書*	自己推薦書*	◇	◇	◇	
		調査書*	◇	◇	◇	
抜	調査書*	調査書*	◇	◇	◇	
		調査書*	◇	◇	◇	

(注) ※提出書類を示す。

( )は、特定のコースが行う選抜方法を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻（岩見沢校）】

学力の3要素		A：知識・技能
		B：思考力・判断力・表現力
		C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試区分	入学選抜方法	専門性を学ぶ意欲	学力の3要素			備考
			A	B	C	
一	前期日程	大学入学共通テスト	○	○		指定する教科・科目
		実技検査 調査書*	○	○		
一般	後期日程	大学入学共通テスト	○	○	◇	指定する教科・科目
		実技検査 面接 調査書*	○	○	○	
選	後期日程	面接 調査書*	◇	◇	◇	
		実技検査又は小論文		○	○	
抜	面接 調査書*	面接 (口頭試問含む。)	○	○	○	
		ポートフォリオ*	○	○	○	
選	自己推薦書*	自己推薦書*	◇	◇	◇	
		調査書*	◇	◇	◇	
抜	調査書*	調査書*	◇	◇	◇	
		調査書*	◇	◇	◇	

(注) ※提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 スポーツ文化専攻 (岩見沢校)】

学力の3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試区分	入学選抜方法	専門性を 学ぶ意欲	学力の3要素			備考
			A	B	C	
一般選抜	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
	実技検査		○	○		
	面接	○	○	○	○	
	(小論文)		○	○		アウトドア・ライフコース
	調査書*		◇	◇	◇	
	(自然体験活動、野外教育、環境教育、アウトドア活動に関する活動歴)*		◇			アウトドア・ライフコース
後期日程	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
	実技検査		○	○		
	面接	○	○	○	○	
	調査書*		◇	◇	◇	
	(自然体験活動、野外教育、環境教育、アウトドア活動に関する活動歴)*		◇			アウトドア・ライフコース
	小論文		○	○		アウトドア・ライフコース： 口頭試問含む
総合型選抜	面接 (口頭試問含む。)	○	○	○	○	
	自己推薦書*	◇	◇	◇	◇	
	調査書*		◇	◇	◇	
	(スポーツに関する活動実績書)*		◇			スポーツ・コーチング科学コース
	(自然体験活動、野外教育、環境教育、アウトドア活動に関する活動歴)*		◇			アウトドア・ライフコース
			◇			

(注) \*提出書類を示す。  
( )は、特定のコースが行う選抜方法を示す。

## 令和5年度 北海道教育大学入学試験日程等一覧

種 別		出願受付期間	学力検査日等	合格発表日	入学手続期間	備 考	
大学入学共通テスト			令和5年1月14日(土) ～1月15日(日)				
学 部	一般選抜	前期日程	令和5年1月23日(月) ～2月3日(金)	令和5年2月25日(土) ～2月27日(月)	令和5年3月9日(木)	令和5年3月10日(金) ～3月15日(水)	追加合格 令和5年3月28日(火)
		後期日程		令和5年3月12日(日) ～3月13日(月)	令和5年3月22日(水)	令和5年3月23日(木) ～3月26日(日)	
	総合型選抜	教員養成特別入試	令和4年9月14日(水) ～9月21日(水)	令和4年10月22日(土) ～10月23日(日)	令和5年2月13日(月)	令和5年2月14日(火) ～2月20日(月)	札幌・旭川・釧路のみ 第1次合格発表 令和4年10月5日(水)
		自己推薦入試	令和4年10月14日(金) ～10月21日(金)	令和4年11月26日(土) ～11月27日(日)	令和4年12月9日(金)	令和5年2月14日(火) ～2月20日(月)	岩見沢校のみ
	学校推薦型選抜	一 般	令和4年11月1日(火) ～11月8日(火)	令和4年11月26日(土) ～11月27日(日) (地域指定は11月27日)	令和4年12月9日(金)	令和5年2月14日(火) ～2月20日(月)	
		地域指定					釧路校のみ

## 入学試験及び入学料減免等に関する問い合わせ先

修学校	郵便番号	所 在 地	入 学 試 験 関 係		入 学 料 減 免 等 関 係	
			担 当	電 話 番 号	担 当	電 話 番 号
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里 5条3丁目1番5号	入試課	011-778-0274	学生支援課	011-778-0326
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	教育支援グループ	0166-59-1223	教育支援グループ	0166-59-1231
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番 55号	教育支援グループ	0154-44-3230	教育支援グループ	0154-44-3236
函館校	040-8567	函館市八幡町1番2号	教育支援グループ	0138-44-4370	教育支援グループ	0138-44-4237
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目 34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348	教育支援グループ	0126-32-0443

## 災害等による選抜方法等の変更について

この学生募集要項発行後、災害発生や治療法が確立していない感染症の拡大等に伴い、やむを得ず、試験日程や選抜方法等を変更する場合があります。

出願受付期間終了後、上記の変更を行う場合、志願者への個別連絡のほか、本学ホームページ「入試情報」(<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>)で変更内容をお知らせしますので、最新の情報を確認するようご注意願います。



# 目 次

## ◎学校推薦型選抜（一般）

1 募集人員	1
2 出願方法等	2
3 入学者選抜の方法	5
4 面接の内容	6
5 試験会場	9
6 選考日程	9

## 学校推薦型選抜（一般）

別紙1-1 (教員養成課程-札幌校)	10
別紙1-2 (教員養成課程-旭川校)	11
別紙1-3 (教員養成課程-釧路校)	12
別紙1-4 (国際地域学科-函館校-地域協働専攻-国際協働グループ)	13
別紙1-5 (国際地域学科-函館校-地域協働専攻-地域政策グループ)	14
別紙1-6 (国際地域学科-函館校-地域協働専攻-地域環境科学グループ)	15
別紙1-7 (国際地域学科-函館校-地域教育専攻)	16
別紙1-8 (芸術・スポーツ文化学科-岩見沢校-音楽文化専攻)	17

## 実技検査等の内容

別紙2-1 (札幌校)	18
別紙2-2 (旭川校)	19
別紙2-3 (岩見沢校)	20

## ◎学校推薦型選抜（地域指定）

1 募集人員	23
2 出願方法等	23
3 入学者選抜の方法	26
4 面接の内容	26
5 試験会場	27
6 選考日程	27

## ◎学校推薦型選抜（一般）及び学校推薦型選抜（地域指定）共通事項

I 障がいがある等の入学志願者の事前相談等	29
II 受験上の注意	29
III 入学試験における不正行為について	29
IV 合格者の発表	30
V 入学辞退、不合格になった場合の一般選抜（個別学力検査等）への出願	30
VI 入学手続	31
VII 授業料	31
VIII 入学時における麻しん（はしか）・風しんワクチン接種歴等の確認について	31
IX 受験に関する問い合わせ	32
X 入学後の教育指導体制について	32
XI 入学試験成績等の開示について	33
XII 個人情報の取扱いについて	33

別紙3-1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	34
別紙3-2 大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて	35
北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則	36
「北海道教育大学基金」による奨学金について	37
高等教育の修学支援制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）	37
入学料・授業料の徴収猶予制度	37
日本学生支援機構奨学金について（貸与奨学金）	38
試験会場位置図	



# 学校推薦型選抜（一般）募集要項



# 1 募集人員

			学部・課程・学科・修学校等	募集人員	
教 育 学 部	教 員 養 成 課 程	札 幌 校	学 校 教 育 専 攻	6	
			特 別 支 援 教 育 専 攻	2	
			言 語 ・ 社 会 教 育 専 攻	10	
			理 数 教 育 専 攻	5	
			生 活 創 造 教 育 専 攻	6	
		芸 術 体 育 教 育 専 攻	函 画 工 作 ・ 美 術 教 育 分 野	音 楽 教 育 分 野	2
				保 健 体 育 教 育 分 野	3
				小 計	7
			養 護 教 育 専 攻	6	
		合 計			42
		旭 川 校	教 育 発 達 専 攻	10	
	国 語 教 育 専 攻		6		
	英 語 教 育 専 攻		5		
	社 会 科 教 育 専 攻		8		
	数 学 教 育 専 攻		6		
	理 科 教 育 専 攻		8		
	生 活 ・ 技 術 教 育 専 攻		7		
	芸 術 ・ 保 健 体 育 教 育 専 攻		音 楽 分 野	美 術 分 野	3
				保 健 体 育 分 野	2
				小 計	7
			合 計		
	釧 路 校	地 域 学 校 教 育 実 践 専 攻	36		
		合 計			36
国 際 地 域 学 科	函 館 校	地 域 協 働 専 攻	国 際 協 働 グ ル ー プ	25	
			地 域 政 策 グ ル ー プ	20	
			地 域 環 境 科 学 グ ル ー プ	15	
		小 計			60
	地 域 教 育 専 攻	8			
合 計			68		
芸 術 ・ ス ポ ー ツ 文 化 学 科	岩 見 沢 校	音 楽 文 化 専 攻	声 楽 コ ー ス	10	
			鍵 盤 楽 器 コ ー ス		
			作 曲 コ ー ス		
			管 弦 打 楽 器 コ ー ス		
			音 楽 教 育 ・ 音 楽 文 化 コ ー ス		
	小 計			10	
合 計			10		
全 学 合 計				213	

(注) 教員養成課程－旭川校－国語教育専攻には、書道分野の募集人員を含みます。

※各専攻等が定める合格基準に満たない場合は、不合格とします。

合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。

## 2 出願方法等

「1 募集人員」に示す課程・学科・修学校・専攻・分野・グループ・コース（以下「課程等」という。）の中から、一つの修学校の課程等に限り、出願することができます。

この場合、本学の志望校以外の修学校又は他の国公立大学の学校推薦型選抜には、出願できません。

### (1) 出願要件

出願要件は、各課程等ごとに異なります。

「学校推薦型選抜（一般）」（10～17ページ）を参照してください。

なお、合格した場合、入学を確約できる者とします。

（注）教員養成課程（札幌校、旭川校、釧路校）の志願者は大学入学共通テストを受験する必要があります。本学が指定した受験を要する教科・科目を受験しなかった場合には、合格が取り消されます。受験を要する教科・科目は34ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。

### (2) 出願手続

志願者は、出願に必要な書類及び入学検定料を取り揃え、必ず本学所定の封筒を使用し、出願受付期間内に到着するよう「志望校の担当課・グループ」へ郵送（書留・速達便）又は持参してください。

### ア 出願書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

出願書類は、ペン又はボールペン（黒又は青。なお、消しゴム等で消せるボールペンは不可）を用い、自筆で記入してください。

なお、訂正する場合は、訂正箇所に二重線を引き、その上部に正しい事項を記入してください。（訂正印は不要です。）

出 願 書 類	注 意 事 項
1 入 学 志 願 票 〔本学所定用紙〕	<p>1 「①志望」欄には、募集人員（1ページ）に示す課程等の中から、一つを選択して記入ください。</p> <p>「修学校」欄 志望する修学校名を必ず記入してください。</p> <p>「課程・学科」欄 志望する課程又は学科名を必ず記入してください。</p> <p>「専 攻」欄 志望する専攻名を必ず記入してください。</p> <p>「分 野」欄 「教員養成課程－札幌校－芸術体育教育専攻」, 「教員養成課程－旭川校－国語教育専攻－書道分野」, 「教員養成課程－旭川校－芸術・保健体育教育専攻」の志願者のみ、志望する分野名を記入してください。</p> <p>「グループ・コース」欄 「国際地域学科－函館校－地域協働専攻」及び「芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校」の志願者のみ、志望するグループ又はコース名を記入してください。</p> <p>「選抜上の区分」欄 「芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻－管弦打楽器コース」の志願者は、「木管楽器」, 「金管打楽器」又は「弦楽器」の別を記入してください。 また、同「音楽文化専攻」の『主実技』（20～22ページ）のうち、(4)を選択した者は、楽器名を記入してください。</p> <p>2 「②高等学校等コード」欄には、『令和5年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内』の「H 高等学校等コード表」から、該当するコードを記入してください。</p>

	<p>3 「③写真貼付」欄には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cm、上半身(肩から上)・正面向き・脱帽の写真に、裏面に氏名を記入の上、所定の欄に貼付してください。</p> <p>4 「④連絡先」欄 連絡先は、全ての欄を正確に記入し、変更があった場合は、直ちに連絡してください。 ※ 緊急連絡先は、緊急事態発生時に志願者連絡先以外で電話連絡がとれる連絡先(例えば、「保護者の職場」や「保護者の携帯電話」など)を必ず具体的に記入してください。</p>
2 受 験 票 [本学所定用紙]	写真は、「入学志願票」に貼付したものと同一のものに、裏面に氏名を記入の上、所定の欄に貼付してください。
3 大学入学共通テスト 受験科目確認票 (本学所定用紙) 【教員養成課程】	<p>本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験することを、<u>志願者自身の責任で確認するためのものです。</u> 受験予定のすべての科目について、該当欄に○印を付けてください。 なお、「<u>地理歴史</u>」、「<u>公民</u>」及び「<u>理科②</u>」については、<u>第1解答科目と第2解答科目を分けて記入してください。また、受験に制限を設けている科目がありますので、注意してください。</u> ※ 別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」(34ページ)参照。</p>
4 入 学 検 定 料 【17,000円】	同封の「払込取扱票」に必要事項を記入し、最寄りのゆうちょ銀行(郵便局)にて「17,000円」を支払い、「郵便振替払込受付証明書(お客さま用)」を「入学志願票」の裏面に貼付してください。
5 調 査 書	<p>在学学校長が作成し、厳封されたものを提出してください。 ※ 作成にあたっては、記載内容に誤りや不足のないよう、正確に記入してください。 ※ 「㊤標示」を希望します。[(注)参照。] ※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書又は成績通信簿を提出してください。</p>
6 あ て 名 票 [本学所定用紙]	<p>合格通知書を確実に受け取れる志願者の住所・氏名等をそれぞれ該当する欄に記入してください。 ※ 4枚とも記入してください。</p>
7 受験票等送付用封筒 [本学所定の封筒]	「354円」分の切手を貼付し、受験票を確実に受け取れる住所等を記入してください。
8 推 薦 書 [本学所定用紙]	<p>次の各項目については、抽象的・概評的な表現ではなく、具体的事実に基づいて記入してください。</p> <p>「推薦する理由」欄 適性があると認められる理由等を明確に記入してください。</p> <p>「学業所見」欄 学業について、調査書と重複しない特記すべき所見を記入してください。</p> <p>「人物所見」欄 長所・短所等について、調査書と重複しないよう具体的に記入してください。</p> <p>「その他の参考事項(教科外の諸活動・特技・資格・表彰等)」欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科外の諸活動：各学年ごとのホームルームにおける役職名及び活動状況、生徒会役員等全校的な役職名、学年及び活動状況、クラブ活動における所属クラブ名及び活動状況(役職名、部員数、大会等の出場歴、成績、記録等)、ボランティア活動等を記入してください。</li> <li>・特技・資格・表彰等：英検○級、柔道○段、スキー○級等の資格や本人の特技又は表彰歴を記入してください。</li> <li>・その他特記事項：学校外の活動等を調査書と重複しない項目について、特記すべき事項を記入してください。</li> </ul>

	<p>※ 推薦書の様式は、本学ホームページ (<a href="https://www.hokkyodai.ac.jp">https://www.hokkyodai.ac.jp</a>) よりダウンロードできますので、データを入力し、印刷したものを提出することもできます。なお、ダウンロードした様式の行数を増やすなど、改変して使用しないよう留意願います。また、A 4 両面で印刷のうえ、公印を押印して提出してください。</p> <p>※ 在籍高等学校では、課程等ごとに設けている 1 校当たりの推薦者数の上限を超えていないか確認してください。</p>
9 自己推薦書 [本学所定用紙]	<p><b>自己の特色(自己のアピール等)</b>、志望の動機、大学で学びたいこと及び将来就職を希望する職業等を「1,200字以内」にまとめて記入してください。</p>
10 実技に関する活動歴調査書 [本学所定用紙]	<p>教員養成課程－旭川校－芸術・保健体育教育専攻－保健体育分野を志望する場合は、本学所定の用紙により、体育に関する活動歴を記入してください。</p> <p>※ <b>活動歴に関する資料は、この所定用紙以外は受け付けません。</b></p>
11 実技検査選択票 [本学所定用紙]	<p>次のいずれかの課程等を志望する場合は、本学所定の用紙により、実技検査の科目（演奏曲目等）を記入又は選択してください。</p> <p>① 教員養成課程－札幌校－芸術体育教育専攻－保健体育教育分野 ② 教員養成課程－旭川校－芸術・保健体育教育専攻－音楽分野 ③ 芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻</p>
12 住民票 [該当者のみ]	<p>日本国籍を有しない者のみ提出してください。</p> <p>※ 市区町村長が発行する証明書です。</p> <p>※ <b>在留資格・在留期間が明示されたものに限り</b>ます。</p>
13 実技（音楽）の楽譜 [札幌校]	<p>教員養成課程－札幌校－芸術体育教育専攻－音楽教育分野を志望する者は、選択した曲の楽譜のコピーを提出してください。</p> <p>※ <b>入学志願票とともに提出してください。</b> 別紙 2－1 「実技検査等の内容」（18ページ）参照。</p>
14 実技（音楽）の伴奏用楽譜 [該当者のみ]	<p>実技（音楽）検査を必要とする次の課程等を志望する者で、伴奏用楽譜を必要とする場合は、提出してください。</p> <p>① 教員養成課程－旭川校－芸術・保健体育教育専攻－音楽分野 ② 芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻</p> <p>※ <b>入学志願票とともに提出してください。</b> 別紙 2－2、2－3 「実技検査等の内容」（19～22ページ）参照。</p> <p>※ 芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻を志願する者は、楽譜の大きさは、各ページとも A 4 判縦（縦30cm×横21cm）としてください。</p>
15 英語検定等の証明書 [該当者のみ]	<p>国際地域学科－函館校－地域協働専攻の全グループ及び地域教育専攻を志望する者で、次の加点対象に該当する場合は、提出してください。</p> <p>①ケンブリッジ英語検定 140以上 ⑥TEAP CBT 420点以上 ②実用英語技能検定 1,950点以上 ⑦TOEFL iBT 42点以上 ③GTEC 960点以上 ⑧TOEIC L&amp;R/TOEIC S&amp;W 1,150点以上 ④IELTS 4.0以上 ⑨国連英検 B級以上 ⑤TEAP 225点以上</p> <p>※ <b>出願書類とともに提出してください。</b></p> <p>※ <b>各機関等の発行する証明書(写しは不可)を提出してください。なお、提出された証明書は返却しません。</b></p> <p>※ <b>TOEFL iBTは、Official Score Report（公式スコア票：Institution Codeは、4922です。）を申し込み、提出してください。</b> 別紙 1－4～1－7 「学校推薦型選抜：一般」（13～16ページ）参照。</p>

(注) 令和 5 年度大学入学者選抜実施要項（令和 4 年 6 月 3 日付け 4 文科高第302号文部科学省高等教育局長通知）第 5 の 4 により、調査書の学習成績概評が A に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、調査書の「学習成績概評」欄に「A」と標示することを希望します。

## イ 出願受付期間

令和4年11月1日（火）～11月8日（火）

持参の場合は、令和4年11月8日（火）まで、郵送の場合は、令和4年11月7日（月）の消印があるものまでを受け付けます。

なお、持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時まで（土・日曜日及び祝日を除きます。）です。

## ウ 出願受付場所

「志望校の担当課・グループ」へ出願書類を提出してください。

修学校	郵便番号	所在地	担当	電話
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号	入試課	011-778-0274
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	教育支援グループ	0166-59-1223
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番55号	教育支援グループ	0154-44-3230
函館校	040-8567	函館市八幡町1番2号	教育支援グループ	0138-44-4370
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348

## エ 注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しないので注意してください。
- ② 受け付けた出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。  
ただし、入学検定料を納入したが、出願しなかった者には、入試課入学試験グループ（電話：011-778-0324）に申し出た場合に、返還します。
- ③ 出願後の入学志願票等の記載事項の変更は、認めません。  
ただし、出願後「住所・電話番号」等に変更があった場合は、直ちに「志望校の担当課・グループ」へ連絡してください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

### (3) 受験票の取扱い

#### ア 受験票の送付

受験票は、令和4年11月18日（金）までに発送します。

受験票が令和4年11月22日（火）までに到着しなかったときは、「志望校の担当課・グループ」へ電話で問い合わせてください。

イ 試験当日は、「受験票」を必ず持参してください。

ウ 本学の「受験票」は、入学試験成績の開示請求の際、必要となりますので、大切に保管してください。

## 3 入学者選抜の方法

入学者の選抜方法は、10～17ページを参照してください。

#### 4 面接の内容

課程・学科・修学校等			①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）	
教員養成課程	札幌校	学校教育専攻 言語・社会教育専攻 理数教育専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数（口頭試問を含む。） 志願者の進路希望に基づき，分野ごとに分けて面接を行う。 受験者が多い場合は，複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② 志望動機，目的意識，入学後の勉強意欲等をみる。	
		特別支援教育専攻 生活創造教育専攻 芸術体育教育専攻 図画工作・美術教育分野 音楽教育分野 保健体育教育分野 養護教育専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数（口頭試問を含む。） 受験者が多い場合は，複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② 志望動機，目的意識，入学後の勉強意欲等をみる。	
教員養成課程	旭川校	教育発達専攻 国語教育専攻 英語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 生活・技術教育専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数（口頭試問を含む。） 受験者が多い場合は，複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② ○教職への意欲・適性 ○態度（話し方，礼儀等） ○質問内容に即した回答の的確性	
		芸術・保健体育教育専攻	音楽分野	① 個人面接／15分程度／面接員複数（口頭試問含む） 受験者が多い場合は，複数の班に分けて面接を行うことがある。
			美術分野 保健体育分野	② ○教職への意欲，関心，態度 ○質問内容に即した回答の的確性 ○言葉遣い
教員養成課程	釧路校	地域学校教育実践専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数 受験者が多い場合は，複数の班に分けて集団面接を行うことがある。 ② 学校教育への関心，教職への目的意識，適性（人間関係形成能力・コミュニケーション能力等），学習意欲，自己表現力，一般常識等を総合的に評価する。	
国際地域学科	函館校	地域協働専攻	国際協働グループ	① 個人面接／15分程度／面接員複数 受験者が多い場合は，複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② 本校を志望するに当たっての目的意識や入学後の学習意欲，本人の資質等をみる。
			地域政策グループ	
		地域環境科学グループ		
		地域教育専攻		

課程・学科・修学校等		①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）
芸術・スポーツ文化学科	岩見沢校 音楽文化専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数 受験者が多い場合は、複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② 目的意識及び入学後の学習意欲をみる。 主実技や音楽芸術についての意欲や関心を問う。

※ 教員養成課程（札幌校，旭川校）の面接（口頭試問を含む。）の内容については，上記のほか次ページを参照願います。

教員養成課程における学校推薦型選抜の面接（口頭試問を含む。）の内容について

修学校	専攻名	面接（口頭試問を含む。）の内容	
札幌校	学校教育専攻	子どもの発達、学習、教育に関する現代的課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	特別支援教育専攻	特別支援教育や障害のある人々についての興味・関心及び現代的課題について問う。	
	言語・社会教育専攻	所属を希望する教科に関する基礎的な知識及び学校教育全般への興味・関心について問う。	
	理数教育専攻	数学・理科に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	生活創造教育専攻	1. 技術科又は家庭科に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。 2. 持続可能な社会の実現に向けた教育のあり方についての考えを問う。	
	芸術体育教育専攻	図画工作・美術教育分野	図画工作及び美術教育への基礎的な知識、及び興味・関心について問う。
		音楽教育分野	音楽の基礎的な知識、及び音楽と教育への興味・関心について問う。
		保健体育教育分野	子どもの体力・運動能力、健康及び競技スポーツ等に関する教育的な現代的課題についての基礎的な知識、及び興味・関心を問う。
	養護教育専攻	高等学校学習指導要領に示されている保健の内容にかかわって、人々の健康課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	旭川校	教育発達専攻	子どもの発達、学習、教育に関する現代的課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。
国語教育専攻		国語に関する基礎的な知識及び国語教育に対する興味・関心について問う。	
英語教育専攻		英語に関する基礎的な知識及び英語教育に対する興味・関心について問う。また、口頭により英語コミュニケーション能力を測る。	
社会科教育専攻		社会科（地理・歴史、公民）及び社会的な事象に関する基礎的な知識及び、社会科教育に対する興味・関心について問う。	
数学教育専攻		数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲまでの範囲の問題を通して、基本的な知識や技能、表現力について問う。	
理科教育専攻		理科に関する基礎的な知識及び理科教育に対する興味・関心について問う。	
生活・技術教育専攻		技術分野、家庭分野に関する基礎的な知識、経験及び興味・関心について問う。	
芸術・保健体育教育専攻		音楽分野	音楽に関する基礎的な知識及び音楽教育に対する興味・関心について問う。
		美術分野	美術に関する基礎的な知識及び美術教育に対する興味・関心について問う。
		保健体育分野	体育・スポーツ・健康に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。

## 5 試験会場

- (1) 志望校の試験会場で受験してください。
- (2) 各校の試験会場は、「試験会場位置図」を参照してください。

## 6 選考日程 令和4年11月26日(土)～11月27日(日)

### 試験時間割

課程・学科・修学校等		日 程		11月26日(土)											11月27日(日)										
				9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
教員養成課程	札幌校	学校教育専攻																							
		特別支援教育専攻																							
		言語・社会教育専攻																							
		理数教育専攻																							
		生活創造教育専攻																							
		芸術体育教育専攻	図画工作・美術教育分野 音楽教育分野 保健体育教育分野																						
	養護教育専攻																								
教員養成課程	旭川校	教育発達専攻																							
		国語教育専攻	書道以外の分野																						
		英語教育専攻																							
		社会科教育専攻																							
		数学教育専攻																							
		理科教育専攻																							
		生活・技術教育専攻																							
		国語教育専攻	書道分野																						
芸術・保健体育教育専攻	音楽分野 美術分野 保健体育分野																								
課外教員養成課程	釧路校	地域学校教育実践専攻																							
国際地域学科	函館校	地域協働専攻	国際協働グループ																						
			地域政策グループ																						
			地域環境科学グループ																						
		地域教育専攻																							
文芸文化・スポーツ科	岩見沢校	音楽文化専攻	声乐コース																						
			鍵盤楽器コース																						
			作曲コース																						
			管弦打楽器コース																						
			音楽教育・音楽文化コース																						

- (注) 受験者が多い等の事情により、選考日時を変更することがあります。この場合、志望校(修学校)から、事前に該当者に連絡します。  
また、受験者が多い等の事情により、終了時刻が17時を過ぎることがあります。

### 学校推薦型選抜（一般）

実施校等	教員養成課程 - 札幌校																																																																									
募集人員	教員養成課程 - 学校教育専攻 6人																																																																									
	教員養成課程 - 特別支援教育専攻 2人																																																																									
	教員養成課程 - 言語・社会教育専攻 10人																																																																									
	教員養成課程 - 理数教育専攻 5人																																																																									
	教員養成課程 - 生活創造教育専攻 6人																																																																									
	教員養成課程 - 芸術体育教育専攻 7人 ( 図画工作・美術教育分野 2人, 音楽教育分野 2人, 保健体育教育分野 3人)																																																																									
	教員養成課程 - 養護教育専攻 6人																																																																									
	※ 選抜の結果, 合格者が募集人員に満たない場合, その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。																																																																									
出願要件	<p>令和5年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和4年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕で, 次の各号に該当し, 当該学校長が本課程（専攻）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め, 責任をもって推薦するものとします。</p> <p>ただし, 推薦者数は, 1校につき上記の募集する専攻の区分に応じて各2人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員となる強い意欲を持ち, 将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする者</li> <li>2 豊かな人間関係を築くことができ, 高いコミュニケーション能力を有する者</li> <li>3 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>4 合格した場合, 入学を確約できる者</li> <li>5 大学入学共通テストを必ず受験する者</li> </ol> <p>※ 受験を要する教科・科目は34ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。</p>																																																																									
選抜方法等	<p>専攻・分野ごとに表に○を付した選抜内容で実施し, これらにより, 総合的に判定します。なお, 面接は口頭試問を含みます。</p> <table border="1" data-bbox="443 1581 1254 2051"> <thead> <tr> <th rowspan="2">専攻・分野</th> <th rowspan="2">学校 教育 専攻</th> <th rowspan="2">特別 支援 教育 専攻</th> <th rowspan="2">言語・ 社会 教育 専攻</th> <th rowspan="2">理数 教育 専攻</th> <th rowspan="2">生活 創造 教育 専攻</th> <th colspan="3">芸術体育 教育専攻</th> <th rowspan="2">養護 教育 専攻</th> </tr> <tr> <th>美術 教育 分野</th> <th>図画 工作 ・ 音楽 教育 分野</th> <th>保健 体育 教育 分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選抜内容</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>推薦書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>調査書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>自己推薦書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>実技検査</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	専攻・分野	学校 教育 専攻	特別 支援 教育 専攻	言語・ 社会 教育 専攻	理数 教育 専攻	生活 創造 教育 専攻	芸術体育 教育専攻			養護 教育 専攻	美術 教育 分野	図画 工作 ・ 音楽 教育 分野	保健 体育 教育 分野	選抜内容										推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実技検査						○	○	○	
専攻・分野	学校 教育 専攻							特別 支援 教育 専攻	言語・ 社会 教育 専攻	理数 教育 専攻		生活 創造 教育 専攻	芸術体育 教育専攻			養護 教育 専攻																																																										
		美術 教育 分野	図画 工作 ・ 音楽 教育 分野	保健 体育 教育 分野																																																																						
選抜内容																																																																										
推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																	
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																	
自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																	
面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																	
実技検査						○	○	○																																																																		

## 学校推薦型選抜（一般）

実施校等	教員養成課程 - 旭川校																																																																																																																																																																				
募集人員	教員養成課程 - 教育発達専攻 <span style="float: right;">10人</span>																																																																																																																																																																				
	教員養成課程 - 国語教育専攻（書道分野を含む。） <span style="float: right;">6人</span>																																																																																																																																																																				
	教員養成課程 - 英語教育専攻 <span style="float: right;">5人</span>																																																																																																																																																																				
	教員養成課程 - 社会科教育専攻 <span style="float: right;">8人</span>																																																																																																																																																																				
	教員養成課程 - 数学教育専攻 <span style="float: right;">6人</span>																																																																																																																																																																				
	教員養成課程 - 理科教育専攻 <span style="float: right;">8人</span>																																																																																																																																																																				
	教員養成課程 - 生活・技術教育専攻 <span style="float: right;">7人</span>																																																																																																																																																																				
	教員養成課程 - 芸術・保健体育教育専攻 <span style="float: right;">7人</span> (音楽分野 2人, 美術分野 3人, 保健体育分野 2人)																																																																																																																																																																				
	※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。																																																																																																																																																																				
出願要件	<p>令和 5 年 3 月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和 4 年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕で、次の各号に該当し、当該学校長が本課程（専攻、分野）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。（生活・技術教育専攻については、令和 4 年 3 月高等専門学校第 3 学年修了見込みの者を含みます。）</p> <p>ただし、推薦者数は、1 校につき、上記の募集する専攻の区分に応じて各 2 人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員となる強い意欲を持ち、将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする者</li> <li>2 豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有する者</li> <li>3 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>4 合格した場合、入学を確約できる者</li> <li>5 大学入学共通テストを必ず受験する者</li> </ol> <p>※ 受験を要する教科・科目は34ページの別紙 3 - 1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。</p>																																																																																																																																																																				
選抜方法等	<p>専攻・分野ごとに表に○を付した選抜内容で実施し、これらにより、総合的に判定します。なお、面接は口頭試問を含みます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">専攻・分野</th> <th>教</th><th>国</th><th>英</th><th>社</th><th>数</th><th>理</th><th>生</th><th>専</th><th>体</th><th>芸</th> </tr> <tr> <th>育</th><th>語</th><th>語</th><th>会</th><th>学</th><th>科</th><th>活</th><th>攻</th><th>育</th><th>術</th> </tr> <tr> <th>選抜内容</th> <th>発</th><th>教</th><th>教</th><th>科</th><th>教</th><th>教</th><th>・</th><th>攻</th><th>教</th><th>・</th> </tr> <tr> <th></th> <th>達</th><th>育</th><th>育</th><th>教</th><th>育</th><th>育</th><th>技</th><th>音</th><th>美</th><th>保</th> </tr> <tr> <th></th> <th>専</th><th>専</th><th>専</th><th>専</th><th>専</th><th>専</th><th>術</th><th>楽</th><th>術</th><th>健</th> </tr> <tr> <th></th> <th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>教育</th><th>分</th><th>分</th><th>体</th> </tr> <tr> <th></th> <th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>専</th><th>野</th><th>野</th><th>育</th> </tr> <tr> <th></th> <th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>野</th><th>野</th><th>分</th> </tr> <tr> <th></th> <th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>攻</th><th>野</th><th>野</th><th>野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推薦書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>調査書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>自己推薦書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>実技検査</td> <td></td><td>○ (注)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>実技に関する活動歴調査書</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 国語教育専攻の募集人員（6人）には、書道分野を含みます。また、書道分野においては、実技検査を実施します。</p>	専攻・分野	教	国	英	社	数	理	生	専	体	芸	育	語	語	会	学	科	活	攻	育	術	選抜内容	発	教	教	科	教	教	・	攻	教	・		達	育	育	教	育	育	技	音	美	保		専	専	専	専	専	専	術	楽	術	健		攻	攻	攻	攻	攻	攻	教育	分	分	体		攻	攻	攻	攻	攻	攻	専	野	野	育		攻	攻	攻	攻	攻	攻	攻	野	野	分		攻	攻	攻	攻	攻	攻	攻	野	野	野	推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実技検査		○ (注)						○	○	○	実技に関する活動歴調査書										○
専攻・分野	教		国	英	社	数	理	生	専	体	芸																																																																																																																																																										
	育	語	語	会	学	科	活	攻	育	術																																																																																																																																																											
選抜内容	発	教	教	科	教	教	・	攻	教	・																																																																																																																																																											
	達	育	育	教	育	育	技	音	美	保																																																																																																																																																											
	専	専	専	専	専	専	術	楽	術	健																																																																																																																																																											
	攻	攻	攻	攻	攻	攻	教育	分	分	体																																																																																																																																																											
	攻	攻	攻	攻	攻	攻	専	野	野	育																																																																																																																																																											
	攻	攻	攻	攻	攻	攻	攻	野	野	分																																																																																																																																																											
	攻	攻	攻	攻	攻	攻	攻	野	野	野																																																																																																																																																											
推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																											
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																											
自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																											
面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																											
実技検査		○ (注)						○	○	○																																																																																																																																																											
実技に関する活動歴調査書										○																																																																																																																																																											
その他	生活・技術教育専攻については、専門高校卒業見込みの者又は高等専門学校第 3 学年修了見込みの者の場合、卒業（修了）学科の専門性により、入学後の所属分野を制限することがあります。（32ページの「X 入学後の教育指導体制について」を参照。）																																																																																																																																																																				

## 学校推薦型選抜（一般）

実施校等	教員養成課程 - 釧路校
募集人員	<p>教員養成課程 - 地域学校教育実践専攻 36人</p> <hr/> <p>※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。</p>
出願要件	<p>令和5年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和4年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕で、次の各号に該当し、本課程（専攻）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを当該学校長が認め、責任をもって推薦するものとします。</p> <p>ただし、推薦者数は、1校につき、6人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員となる強い意欲を持ち、将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする者</li> <li>2 豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有する者</li> <li>3 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>4 合格した場合、入学を確約できる者</li> <li>5 大学入学共通テストを必ず受験する者</li> </ol> <p>※ 受験を要する教科・科目は34ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。</p>
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>なお、「学校推薦型選抜（地域指定）」の合格者は、この「学校推薦型選抜（一般）」の合格者とはなりません。</p>

## 学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 - 函館校 - 地域協働専攻 - 国際協働グループ
募集人員	国際地域学科 - 地域協働専攻 - 国際協働グループ 25人 ※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。
出願要件	<p>令和5年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和4年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻・グループ）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。推薦者数は、1校につき3人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 異なる国や民族・地域・文化・社会との間での協調的かつ現実的な国際協働の現場において必要となる、グローバルな実践的課題解決能力の獲得に十分な意欲、資質及び適性を備えている者</li> <li>2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>3 合格した場合、入学を確約できる者</li> </ol>
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置          ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 960点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&amp;R/TOEIC S&amp;W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

## 学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 - 函館校 - 地域協働専攻 - 地域政策グループ
募集人員	国際地域学科 - 地域協働専攻 - 地域政策グループ 20人 ※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。
出願要件	<p>令和5年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和4年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻・グループ）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。推薦者数は、1校につき3人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団や企業などとの多様なネットワークを構築する能力と、地域の課題解決に取り組む実行力の獲得に十分な意欲、資質及び適性を備えている者</li> <li>2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>3 合格した場合、入学を確約できる者</li> </ol>
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置          ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 960点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&amp;R/TOEIC S&amp;W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

## 学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 - 函館校 - 地域協働専攻 - 地域環境科学グループ
募集人員	国際地域学科 - 地域協働専攻 - 地域環境科学グループ 15人 ※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。
出願要件	<p>令和5年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和4年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻・グループ）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。推薦者数は、1校につき3人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身につけようとする態度、探究力、批判的な思考力などの獲得に十分な意欲、資質及び適性を備えている者</li> <li>2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>3 合格した場合、入学を確約できる者</li> </ol>
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置          ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 960点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&amp;R/TOEIC S&amp;W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

## 学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 - 函館校 - 地域教育専攻
募集人員	国際地域学科 - 地域教育専攻 8人 ※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程の募集人員に加えられます。
出願要件	<p>令和5年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和4年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。</p> <p>推薦者数は、1校につき1人とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの教育問題を国際的視野を持って考え、地域の教育課題を理解し、学校教育をとおして課題解決に取り組む姿勢を身につけようとする意欲がある者</li> <li>2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>3 合格した場合、入学を確約できる者</li> </ol>
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置          ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 960点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&amp;R/TOEIC S&amp;W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

## 学校推薦型選抜（一般）

実 施 校 等	芸術・スポーツ文化学科 - 岩見沢校 - 音楽文化専攻																																																								
募 集 人 員	芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻 - 声楽コース, 鍵盤楽器コース 作曲コース, 管弦打楽器コース 音楽教育・音楽文化コース <span style="float: right;">10人</span>																																																								
出 願 要 件	※ 選抜の結果, 合格者が募集人員に満たない場合, その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。  令和5年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和4年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕で, 次の各号に該当し, 当該学校長が本学科（専攻・コース）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め, 責任をもって推薦するものとします。 推薦者数は, 1校につき7人以内（声楽コース, 作曲コース及び音楽教育・音楽文化コースは各1人以内, 鍵盤楽器コース, 管弦打楽器コースは2人以内）とします。  1 音楽分野に適した資質を有し, 地域の芸術・文化の向上に意欲と情熱を持つ者 2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3 合格した場合, 入学を確約できる者																																																								
選 抜 方 法 等	◎ 各コースごとに表に○を付した選抜内容により, 総合的に判定します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 10%;">コース</th> <th style="width: 10%;">声 楽 コ ー ス</th> <th style="width: 10%;">鍵 盤 楽 器 コ ー ス</th> <th style="width: 10%;">管 弦 打 楽 器 コ ー ス</th> <th style="width: 10%;">音 楽 文 化 教 育 コ ー ス</th> <th style="width: 10%;">作 曲 コ ー ス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">選抜内容</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>推 薦 書</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>調 査 書</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>自 己 推 薦 書</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>面 接</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>実 技 検 査</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>作 品 審 査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 作曲コースの実技検査には, 提出作品についての質問を含みます。                  ①作品の種類, 大きさ及び曲数は問いません。                  ②作品の提出は楽譜によるものとします。音源等があれば提出してもよろしいです。</p>		コース	声 楽 コ ー ス	鍵 盤 楽 器 コ ー ス	管 弦 打 楽 器 コ ー ス	音 楽 文 化 教 育 コ ー ス	作 曲 コ ー ス	選抜内容							推 薦 書		○	○	○	○	○	調 査 書		○	○	○	○	○	自 己 推 薦 書		○	○	○	○	○	面 接		○	○	○	○	○	実 技 検 査		○	○	○	○	○	作 品 審 査						○
	コース	声 楽 コ ー ス	鍵 盤 楽 器 コ ー ス	管 弦 打 楽 器 コ ー ス	音 楽 文 化 教 育 コ ー ス	作 曲 コ ー ス																																																			
選抜内容																																																									
推 薦 書		○	○	○	○	○																																																			
調 査 書		○	○	○	○	○																																																			
自 己 推 薦 書		○	○	○	○	○																																																			
面 接		○	○	○	○	○																																																			
実 技 検 査		○	○	○	○	○																																																			
作 品 審 査						○																																																			

## 実技検査等の内容（札幌校）

## 1 教員養成課程－芸術体育教育専攻－図画工作・美術教育分野

素描 鉛筆による素描（構成に至った説明の記入時間を含めて3時間で行う。用紙のサイズはB3とする。）：与えられたモチーフのうち2つ以上を構成し、画用紙に描画し、モチーフを構成した意図等の説明（400字～800字程度）を所定用紙に記入するものとする。モチーフは以下のとおりとする。

- ・ 自分の手（手首から指先までの部分を含む）
  - ・ 静物1（瓶、ペットボトル、コップなどの「透明なもの」）
  - ・ 静物2（果物または野菜）
- ※鉛筆デッサン用具一式（鉛筆、消しゴムなど）を持参すること。

## 2 教員養成課程－芸術体育教育専攻－音楽教育分野

検 査 科 目	
1	<p><b>歌唱（全員）</b> 以下の小学校歌唱共通教材の中から、1曲（検査時に示された曲）を無伴奏で歌唱すること。いずれも2番まで歌唱すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>「ふじ山」……………（文部省唱歌）：ハ長調  「まきばの朝」……………（文部省唱歌）：ハ長調  「こいのぼり」……………（文部省唱歌）：ヘ長調  「冬げしき」……………（文部省唱歌）：ヘ長調  「おぼろ月夜」……………（文部省唱歌）：ハ長調  「われは海の子」……………（文部省唱歌）：ニ長調</p>
2	<p><b>器楽演奏（全員）</b></p> <p>(1) アルトリコーダーまたはソプラノリコーダー（注1） 以下の中学校歌唱共通教材から任意に選択した1曲を、無伴奏で演奏すること。いずれも1番のみ演奏すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>「赤とんぼ」…………… 三木露風作詞／山田耕筰作曲：変ホ長調  「早春賦」…………… 吉丸一昌作詞／中田 章作曲：変ホ長調  「夏の思い出」…………… 江間章子作詞／中田喜直作曲：ニ長調  「花」…………… 武島羽衣作詞／滝廉太郎作曲：ト長調  「花の街」…………… 江間章子作詞／團伊玖磨作曲：ヘ長調  「浜辺の歌」…………… 林 古溪作詞／成田為三作曲：ヘ長調</p> <p>(2) ピアノ（注2） J. S. バッハ シンフォニア 第1番BWV787～第15番BWV801（但し、第5番BWV791は除く）の中から、<u>任意の1曲</u>を演奏すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>（注1）選択した曲の楽譜のコピーを、入学志願票とともに提出すること。また、検査時にはリコーダーを持参すること。  （注2）選択した曲の楽譜のコピーを、入学志願票とともに提出すること。</p> <p>（※上靴を持参すること）</p>

## 3 教員養成課程－芸術体育教育専攻－保健体育教育分野

以下の2領域からそれぞれ1種目（計2種目）を課す。

領 域		検 査 科 目		実 施 法
1	器械運動 陸上競技	①マット運動 ②鉄棒 ③ハードル走		左記①～③より 1種目を選択
2	球 技	ゴール型	①バスケットボール ②サッカー	左記①～⑥より 1種目を選択
		ネット型	③バレーボール ④バドミントン ⑤硬式テニス	
		ベースボール型	⑥ソフトボール	

※ 全ての種目を体育館で実施する。運動ができる服装と体育館用シューズを準備すること。  
また、球技領域においてバドミントンと硬式テニスの選択者はラケット、ソフトボールの選択者はグラブを持参すること。

実技検査等の内容 (旭川校)

1 教員養成課程—国語教育専攻—書道分野

- (1) 「楷書」, 「かな」の古典を半紙に臨書する。
- (2) 「漢字かな交じりの書」を画仙紙半切 2 分の 1 に創作する。
- (3) 「行書」の古典を画仙紙半切に臨書する。

2 教員養成課程—芸術・保健体育教育専攻—音楽分野

検 査 科 目
<p>1 ソルフエージュ (全員)                      新曲視唱 (下の出題例程度の与えられた旋律の視唱)                      《譜例》</p>  <p>2 楽曲演奏                      ピアノ, 声楽, 管楽器のうち, <u>いずれか一つ</u>を選んで演奏すること。                      なお, 暗譜の必要はない。</p> <p>○ピアノ                      任意に選択した楽曲 1 曲 (ソナタ, ソナチネ等は任意の一(ひと)楽章) を演奏すること。</p> <p>○声楽 (注 1)                      日本歌曲の中から任意の 1 曲, イタリア歌曲又はドイツ歌曲の中から任意の 1 曲を選択し, 合計 2 曲を演奏すること。なお, 楽曲の調性は自由とする。</p> <p>「日本歌曲」                      荒城の月 ..... 滝 廉太郎 (2 番まで)                      早春賦 ..... 中田 章 (2 番まで)                      浜辺の歌 ..... 成田 為三 (2 番まで)                      さびしいカシの木 (「愛する歌」より) ..... 木下 牧子</p> <p>「イタリア歌曲」                      Intorno all' idol mio ..... Cesti                      Lasciar d' amarti ..... Gasparini                      Caro mio ben ..... Giordani</p> <p>「ドイツ歌曲」                      Ich liebe dich ..... Beethoven                      Heidenröslein ..... Schubert</p> <p>○管楽器 (注 2)                      任意に選択した楽曲 1 曲 (楽章が分かれている場合は, 任意の一(ひと)楽章) を伴奏なしで演奏すること。</p> <p>(注 1) 声楽については, 選択した曲の伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。                      (注 2) 管楽器は, 次の範囲とする。                      フルート, オーボエ, クラリネット, サクソフォーン, ファゴット, ホルン, トランペット, トロンボーン, ユーフォニアム, テューバ                      (ただし, オーケストラや吹奏楽で使用されている管楽器であれば, 上記指定楽器以外の楽器も受験の際の代替楽器として認める。)</p> <p>(注: 上靴を持参のこと。)</p>

3 教員養成課程—芸術・保健体育教育専攻—美術分野

実技検査は, 鉛筆による素描 (3 時間で行う)。モチーフは静物。用紙の大きさは, およそ 515mm × 364mm。※鉛筆デッサン用具一式を持参すること。

4 教員養成課程—芸術・保健体育教育専攻—保健体育分野

日本スポーツ協会策定の運動適正テスト (立ち幅とび, 上体起こし, 腕立伏臥腕屈伸, 時間往復走, 5 分間走) を実施する。

## 実技検査等の内容（岩見沢校）

## 1 芸術・スポーツ文化学科—音楽文化専攻

検 査 科 目
<p><b>1 ソルフェージュ（全員）</b></p> <p>(1) 単旋律の聴音（8小節程度）</p> <p>(2) コールユーブンゲン（第1巻から当日指定する1曲を歌唱すること。）</p> <p>(3) 楽典の音程，拍子，調，音階，楽語等に関する筆記問題</p> <p><b>2 主実技（次の(1)～(5)の中から一つのコースを選択すること。）</b></p> <p>(1) 声楽コース 自由曲 任意に選択した2曲を提出し，暗譜で歌唱すること。 （演奏時間は1曲につき3分以内を目途とする。） （注）伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。</p> <p>(2) 鍵盤楽器コース 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。ソナタであれば一（ひと）楽章。（繰り返しはしない。） （注）試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが，志願者の評価に不利になるものではない。</p> <p>(3) 作曲コース 次のアからウの中から二つ選択すること。 ア 和声ソプラノ課題（非和声音と転調を含む。） イ 和声バス課題（非和声音を含まない。転調を含む。） ウ 自作品の提出 （注）・作曲コースの実技検査には，提出作品についての質問を含む。 ・作品の種類，大きさ及び曲数は問わない。 ・作品の提出は楽譜によるものとする。音源等があれば提出してもよい。 ・作品は，入学志願票とともに提出すること。</p> <p>(4) 管弦打楽器コース</p> <p>① 木管楽器・金管楽器</p> <p>ア 受験する管楽器による初見視奏</p> <p>イ 音階 すべての管楽器は，譜例に従い長調全調から当日指定された調を暗譜で演奏すること。 なお管楽器のアーティキュレーションは，スタカート，テヌート，レガートから当日指定する。（譜例は，21ページの譜例集①による）</p> <p>ウ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。（エチュードは除く。） （注）試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが，志願者の評価に不利になるものではない。 （注）同属の代替楽器での受験を認める場合がある。詳細は問い合わせること。</p> <p>② 弦楽器</p> <p>ア 受験する弦楽器による初見視奏</p> <p>イ 音階 ヴァイオリンは，音階Carl Flesch：Scale Systemからニ長調第5番又はロ短調第5番のどちらかを当日指定する。指定された音階を暗譜で演奏すること。運弓法（ボーイング）は，ハ長調第5番に準ずること。 ヴィオラ，チェロ，コントラバスは，＃・♭二つまでの長調，短調（和声的短音階）の音階を譜例に従い暗譜で演奏すること。調は当日指定する。（譜例は21～22ページの譜例集②，③，④による。）</p> <p>ウ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。（エチュードは除く。）</p>

(注) 試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

(注) ヴィオラ志願者はヴァイオリンで受験することができる。その場合は、志願票の楽器名はヴィオラと記載し、ア及びイの試験はヴァイオリンの課題曲を演奏する。

③ 打楽器 (小太鼓, マリンバの中から一つを選択)

ア 受験する打楽器による初見視奏

イ 基礎課題

・小太鼓: 基礎打ち 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, 7つ打ち, 9つ打ち, ロール打ち (pp < ff > pp) の中から当日指定する。

・マリンバ: 長調全調の音階を譜例に従い, 暗譜で演奏すること。調は当日指定する。(譜例は22ページの譜例集⑤による。)

ウ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。(エチュードは除く。)

(注) 試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

(注) 小太鼓は各自持参すること。ただし, マリンバ(4オクターブ)は, 本学で楽器を用意する。

※ ①~③の主実技試験は, 全て伴奏なしで行う。

(5) 音楽教育・音楽文化コース

・自由曲の暗譜での演奏(ピアノ, 声楽, 和楽器, 民族楽器の中から一つを選んで演奏すること)

注: ①楽器はピアノのみ大学で準備する。その他の楽器については持参すること。なお, 大規模な楽器の搬入のために助手を同行することや本学で助手を用意することはできない。

②声楽の場合は, 伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。

③声楽以外は独奏とする。

④ピアノの場合, ソナタであれば, 一(ひと)楽章を暗譜で演奏すること。

⑤自作作品の演奏や弾き語りも可能である。自作作品は, 楽譜を入学志願書とともに提出すること。なお, 弾き語りとは, ピアノで又はピアノの代替楽器として和楽器, 民族楽器を伴奏楽器に使っての歌唱も認めることとする。

⑥実技検査選択票に, 曲名, 作曲者名を記入すること。

⑦試験監督の指示により演奏途中で切ることがあるが, 志願者の評価に不利になるものではない。

《管楽器, 弦楽器及び打楽器の譜例》

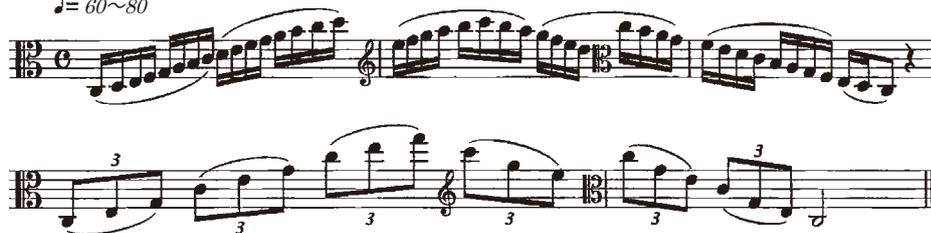
①木管楽器・金管楽器



初めから終わりまで一息で演奏すること。  
ダイナミクス及びテンポは自由。

②ヴィオラ

♩ = 60~80



③チェロ

♩ = 60~80

Two staves of musical notation for Cello. The first staff is in bass clef with a common time signature (C). It features a complex melodic line with many sixteenth and thirty-second notes, some beamed together. The second staff is also in bass clef with a common time signature, showing a rhythmic accompaniment with triplets of eighth notes.

④コントラバス

♩ = 50~60

Two staves of musical notation for Contrabass. The first staff is in bass clef with a common time signature (C), featuring a simple melodic line of quarter and eighth notes. The second staff is in bass clef with a 3/4 time signature, providing a rhythmic accompaniment of quarter notes.

⑤マリンバ

♩ = 100~132

Two staves of musical notation for Marimba. The first staff is in treble clef with a common time signature (C), showing a melodic line with eighth and sixteenth notes. The second staff is in bass clef with a common time signature, providing a rhythmic accompaniment of eighth notes.

# 学校推薦型選抜（地域指定）募集要項



## 1 募集人員

課 程	修学校	専 攻	募集人員
教員養成課程	釧路校	地域学校教育実践専攻	18人

※ 本学が定める合格基準に満たない場合は、不合格とします。

※ 合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。

## 2 出願方法等

上記「募集人員」で示す課程・修学校・専攻に出願することができます。

この場合、本学の釧路校以外の修学校の「学校推薦型選抜（一般）」又は他の国公立大学の学校推薦型選抜には、出願できません。

※ 釧路校の「学校推薦型選抜（地域指定）」と釧路校の「学校推薦型選抜（一般）」を併せて出願することができます。（入学検定料は、それぞれ払い込んでください。）

ただし、この「学校推薦型選抜（地域指定）」の合格者は、釧路校の「学校推薦型選抜（一般）」の合格者とはなりません。

### (1) 出願要件

令和5年3月高等学校卒業見込の者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和4年度途中で高等学校を卒業した者を含みます。〕で、次の各号に該当し、本課程（専攻）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを当該学校長が認め、責任をもって推薦するものとします。

なお、1校あたりの推薦者数について、上限はありません。

- ① 当該学校は、北海道の日高振興局、宗谷総合振興局、オホーツク総合振興局、十勝総合振興局、釧路総合振興局、根室振興局管内の高等学校であること
- ② へき地・小規模校教育等に高い関心と強い意欲を持ち、将来教員として出願要件①の管内に定着する意志の強い者
- ③ 豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有する者
- ④ 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者又は特定の教科に優れた成績を有する者
- ⑤ 合格した場合、入学を確約できる者
- ⑥ 大学入学共通テストを必ず受験すること

本学が指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験しなかった場合には、合格が取り消されます。受験を要する教科・科目は34ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照ください。

## (2) 出願手続

志願者は、出願に必要な書類及び入学検定料を取り揃え、必ず本学所定の封筒を使用し、「鉦路校教育支援グループ」へ郵送（書留・速達便）又は持参により出願してください。

### ア 出願書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

出願書類は、ペン又はボールペン（黒又は青。なお、消しゴム等で消せるボールペンは不可）を用い、自筆で記入してください。

なお、訂正する場合は、訂正箇所に二重線を引き、その上部に正しい事項を記入してください。（訂正印は、不要です。）

出 願 書 類	注 意 事 項
1 入 学 志 願 票 [本学所定用紙]	<p>1 「②高等学校等コード」欄には、『令和5年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内』の「H 高等学校等コード表」から、該当するコードを記入してください。</p> <p>2 「③写真貼付」欄には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cm、上半身（肩から上）・正面向き・脱帽の写真を、裏面に氏名を記入した上で、貼付してください。</p> <p>3 「④連絡先」欄 連絡先は、全ての欄を正確に記入し、変更があった場合は、直ちに連絡してください。 ※ 緊急連絡先は、緊急事態発生時に志願者連絡先以外で電話連絡がとれる連絡先（例えば、「保護者の職場」や「保護者の携帯電話」など）を必ず具体的に記入してください。</p>
2 受 験 票 [本学所定用紙]	写真は、「入学志願票」に貼付したものと同一のものに、裏面に氏名を記入の上、所定の欄に貼付してください。
3 大学入学共通テスト 受験科目確認票 [本学所定様式]	<p>本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験することを、<u>志願者本人の責任</u>で確認するためのものです。</p> <p>受験予定のすべての科目について、該当欄に○印を付けてください。</p> <p>なお、「<u>地理歴史</u>」、「<u>公民</u>」及び「<u>理科②</u>」については、<u>第1解答科目と第2解答科目を分けて記入してください。また、受験に制限を設けている科目がありますので、注意してください。</u></p> <p>※ 別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」（34ページ）参照。</p>
4 入 学 検 定 料 【17,000円】	同封の「払込取扱票」に必要事項を記入し、最寄りのゆうちょ銀行（郵便局）にて「17,000円」を支払い、「郵便振替払込受付証明書（お客さま用）」を「入学志願票」の裏面に貼付してください。
5 調 査 書	<p>在学学校長が作成し、厳封されたものを提出してください。</p> <p>※ 作成にあたっては、記載内容に誤りや不足のないよう、正確に記入してください。</p> <p>※ 「A標示」を希望します。〔(注) 参照。〕</p> <p>※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書又は成績通信簿を提出してください。</p>
6 あ て 名 票 [本学所定用紙]	<p>合格通知書を確実に受け取れる志願者の住所・氏名等をそれぞれ該当する欄に記入してください。</p> <p>※ 4枚とも記入してください。</p>
7 受験票等送付用封筒 [本学所定の封筒]	「354円」分の切手を貼付し、受験票を確実に受け取れる住所等を記入してください。

<p>8 推薦書 [本学所定用紙]</p>	<p>次の各項目については、抽象的・概評的な表現ではなく、具体的事実に基づいて記入してください。</p> <p>「推薦する理由」欄 適性があると認められる理由等を明確に記入してください。</p> <p>「学業所見」欄 学業について、調査書と重複しない特記すべき所見を記入してください。</p> <p>「人物所見」欄 長所・短所等について、調査書と重複しないよう具体的に記入してください。</p> <p>「その他の参考事項（教科外の諸活動・特技・資格・表彰等）」欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科外の諸活動：各学年ごとのホームルームにおける役職名・活動状況、生徒会役員等全校的な役職名・学年・活動状況、クラブ活動における所属クラブ名・活動状況（役職名、部員数、大会等の出場歴、成績、記録等）並びにボランティア活動等を記入してください。</li> <li>・特技・資格・表彰等：英検〇級、柔道〇段、スキー〇級等の資格や本人の特技又は表彰歴を記入してください。</li> <li>・その他特記事項：学校外の活動等を調査書と重複しない項目について、特記すべき事項を記入してください。</li> </ul> <p>※ 推薦書の様式は、本学ホームページ（<a href="https://www.hokkyodai.ac.jp">https://www.hokkyodai.ac.jp</a>）よりダウンロードできますので、データを入力し、印刷したものを提出することもできます。なお、ダウンロードした様式は行数を増やすなど、改変して使用しないよう留意願います。また、A4両面で印刷のうえ、公印を押印して提出してください。</p>
<p>9 自己推薦書 [本学所定用紙]</p>	<p>自己の特色（自己アピール等）、志望の動機、大学で学びたいこと及び将来就きたいと考えている学校種及び教科等を「700字以内」にまとめて記入してください。</p>
<p>10 住民票 [該当者のみ]</p>	<p>日本国籍を有しない者のみ提出してください。</p> <p>※ 市区町村長が発行する証明書です。</p> <p>※ 在留資格・在留期間が明示されたものに限りです。</p>

(注) 令和5年度大学入学者選抜実施要項（令和4年6月3日付け4文科高第302号文部科学省高等教育局長通知）第5の4により、調査書の学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、調査書の「学習成績概評」欄に「A」と標示することを希望します。

#### イ 出願受付期間

令和4年11月1日（火）～11月8日（火）

持参の場合は、令和4年11月8日（火）まで、郵送の場合は、令和4年11月7日（月）の消印があるものまでを受け付けます。

なお、持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時まで（土・日曜日及び祝日を除きます。）です。

#### ウ 出願受付場所

「釧路校教育支援グループ」へ出願書類を提出してください。

修学校	郵便番号	所在地	担当	電話
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番55号	教育支援グループ	0154-44-3230

## エ 注意事項

- ① 「学校推薦型選抜（一般）」と「学校推薦型選抜（地域指定）」に併せて出願する場合は、それぞれにつき提出書類等を揃え、対応する指定の封筒に入れてください。（一つの封筒にまとめて出願することはできません。）
- ② 出願書類に不備がある場合は、受理しないので注意してください。
- ③ 受け付けた出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。  
ただし、入学検定料を納入したが、出願しなかった者には、入試課入学試験グループ（電話：011-778-0324）に申し出た場合に、返還します。
- ④ 出願後の入学志願票等の記載事項の変更は、認めません。  
ただし、出願後「住所・電話番号」等に変更があった場合は、直ちに「釧路校教育支援グループ」へ連絡してください。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

### (3) 受験票の取扱い

#### ア 受験票の送付

受験票は、令和4年11月18日（金）までに発送します。

受験票が令和4年11月22日（火）までに到着しなかったときは、「釧路校教育支援グループ」へ電話で問い合わせてください。

#### イ 試験当日は、「受験票」を必ず持参してください。

ウ 本学の「受験票」は、入学試験成績の開示請求の際、必要となりますので、大切に保管してください。

## 3 入学者選抜の方法

入学者の選抜方法は、推薦書、調査書、自己推薦書、個人面接、集団面接（討論）により、総合的に判定します。

## 4 面接の内容

### ●集団面接（討論）

課程・修学校・専攻		①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）
教員養成課程	釧路校 地域学校教育実践専攻	① 集団面接（討論）／30分程度／面接員複数 ・課題図書に関するグループ討論 （以下の課題図書を試験当日までに入手し、読んでおくこと。また、当日持参すること。） 書名 5と3／4時間目の授業 著者 高橋 源一郎 発行所 講談社 判型 講談社文庫 定価 580円+税 ISBN 978-4-06-526810-0 ② 自己表現力、理解力、他人の意見を正しく聞くことのできる能力等を総合的に評価する。

●個人面接

課程・修学校・専攻			①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）
教 員 養 成 課 程	鉤 路 校	地域学校教育実践専攻	① 個人面接／15～20分程度／面接員複数 ・受験者が多い場合には、複数の班に分けて集団面接を行うことがある。 ② 以下の点について、総合的に評価する。 ・教職への目的意識（進学目的・志望動機）が明確で、学習意欲が高い ・へき地・小規模校教育等に高い関心と強い意欲を持つ ・地域の学校教育に関わろうとする姿勢を持つ ・地域の活動や環境に対する深い理解や関心を持つ ・教科に対する興味・関心を持つ ・人間関係形成能力・コミュニケーション能力等の将来教員となるにふさわしい資質を持つ ・一般常識や自己表現力を身につけている

5 試験会場

- (1) 「鉤路校」で受験してください。
- (2) 試験会場は、「試験会場位置図」を参照してください。

6 選考日程 令和4年11月27日（日）

試験時間割

課程・修学校・専攻		11月27日（日）								
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
課 教 員 養 成 課 程	鉤 路 校	集団面接 （討論） 9:00～12:00				個人面接 13:00～17:00				

※ 受験者数によって若干時間を変更する可能性があります。



# 学校推薦型選抜（一般）及び 学校推薦型選抜（地域指定）

## 共通事項

I	障がいがある等の入学志願者の事前相談等	29
II	受験上の注意	29
III	入学試験における不正行為について	29
IV	合格者の発表	30
V	入学辞退、不合格になった場合の一般選抜（個別学力検査等）への出願	30
VI	入学手続	31
VII	授業料	31
VIII	入学時における麻しん（はしか）・風しんワクチン接種歴等の確認について	31
IX	受験に関する問い合わせ	32
X	入学後の教育指導体制について	32
XI	入学試験成績等の開示について	33
XII	個人情報の取扱いについて	33
	別紙3-1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	34
	別紙3-2 大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて	35
	北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則	36
	「北海道教育大学基金」による奨学金について	37
	高等教育の修学支援制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）	37
	入学料・授業料の徴収猶予制度	37
	日本学生支援機構奨学金について（貸与奨学金）	38
	試験会場位置図	



## I 障がいがある等の入学志願者の事前相談等

障がいがある等の理由により、受験上及び修学上に不安を感じる、あるいは配慮を必要とする志願者に対して、事前相談を実施いたしますので、令和4年10月11日（火）までに「志望校の担当課・グループ」へお申し出ください。

また、事前相談の結果、さらに詳細な相談が必要となった場合には、原則として以下のイのように対応いたします。

### ア 事前相談

電話等で相談を承ります。その際、医師の診断書等を提出していただく場合があります。

### イ 詳細な相談

本学において、本学職員と、志願者又はその立場を代弁し得る出身高等学校関係者等との間で、面談等を実施いたします。

なお、事前相談や詳細な相談は、適切な受験環境を整えるため、あるいは、入学後の修学環境を充実させるためのものであり、合否判定には一切影響いたしません。

### 障がい等を有する者の志願・入学状況（全選抜合計）

入学年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
志願者数	7名	7名	2名
障がいの区分	肢体不自由者 その他	視覚障害 肢体不自由者 その他	視覚障害 その他
合格者数・入学者数	1名	2名	1名
障がいの区分	肢体不自由者	肢体不自由者 その他	視覚障害

受験における特別な配慮（例）

- ・車いすの持込、利用の許可
- ・出願時提出書類のPC入力許可
- ・別室の設定
- ・拡大問題冊子の配付
- ・試験時間の延長
- ・筆記補助具の持込、利用許可
- ・トイレに近い試験室を設定
- ・書見台、ルーペ等の持込許可

## II 受験上の注意

- (1) 試験当日は、受験票、筆記用具及び指示されたものを持参して、後日お知らせする所定の時刻までに集合してください。
- (2) 試験開始後、30分以上遅刻したときは、受験を認めません。
- (3) 試験に関する具体的な注意事項については、志望校から指示します。

## III 入学試験における不正行為について

本学のすべての入学試験において、以下の不正行為が確認されましたら、警察に被害届を提出する場合があります。

- ・受験票等に本人以外の写真を貼ることや解答用紙等に本人以外の氏名・受験番号を記入すること。
- ・カンニング（試験時間中、試験に関係するメモやコピー及び書籍類などを机上等に置いたり見たりすること、他の受験者の答案等を見ることや答えを教わるなど）
- ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

- ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・試験開始前，問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・試験時間中，試験監督から指示された物以外の所持品を出したり触っていること。
- ・試験終了時，試験監督から解答をやめるよう指示されたが，筆記用具を持っていたり解答を続けること。
- ・その他，入学試験の業務を妨げる行為を行うこと。

これら不正行為を行った受験生については，試験時間中に確認された場合はその時点から受験が取り止めとなり，当該入学試験の成績は無効となります。

また，試験終了後に確認された場合は選考の対象となりません。

## IV 合格者の発表

令和4年12月9日（金） 午前9時

合格者の発表は，発表日に合格者及び在学学校長あてに文書で通知します。  
また，合格者の受験番号を発表時刻以降に本学ホームページに掲載します。

北海道教育大学ホームページURL <https://www.hokkyodai.ac.jp/>

※ 本学ホームページが表示されましたら，ブラウザの更新ボタンを押してからご覧ください。  
なお，不合格となった者については，当該在学学校長あてに文書で通知します。

合否についての電話等による問い合わせには，応じません。

※ 合格通知書の氏名について，コンピュータで表記できない文字は，文字が置き換えられるか，カタカナ等で表記されることがあります。これは入力処理の誤りではありませんので，ご承知おきください。

※ 教員養成課程（札幌校，旭川校，釧路校）の合格者について，本学が指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験しなかった者については，合格が取り消されます。

※ 教員養成課程（札幌校，旭川校，釧路校）の合格者は，大学入学共通テストの受験票（コピー）及び大学入学共通テスト成績請求票（原本）を令和4年12月19日（月）～12月23日（金）（※必着）までに志望校の担当課・グループへ郵送（書留）又は持参してください。

持参の場合の受付時間は，平日の午前9時から午後5時までです。

（大学入学共通テスト成績請求票は，受験票と併せて大学入試センターより送付されます。  
その成績請求票の「国公立推薦型選抜用」を上記提出期限までに提出してください。）

## V 入学辞退，不合格になった場合の一般選抜（個別学力検査等）への出願

### (1) 入学辞退について

ア 学校推薦型選抜合格者は，原則として，入学辞退を認めません。

ただし，特別の事情があり，入学を辞退する場合は，令和5年2月20日（月）までに推薦高等学校長から，本学学長あてに「学校推薦入学辞退願」（様式自由）を提出し，許可を得なければなりません。

イ 学校推薦型選抜合格者は，本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても，合格者とはなりません。

ただし，本学へ「学校推薦入学辞退願」を提出し，許可された者を除きます。

※ 公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

(2) 不合格になった場合の一般選抜（個別学力検査等）への出願について

- ア 選考の結果、不合格になった場合には、国公立大学・学部の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、公立大学・学部の「中期日程」から一つの合計三つの国公立大学（本学を含む。）・学部に出願することができます。
- イ 本学の一般選抜に出願する場合は、志望校の担当課・グループに学生募集要項を請求し、令和5年1月23日（月）～2月3日（金）までに書類を提出してください。

## Ⅵ 入学手続

入学手続の詳細（提出書類及び納入金の納入方法等）については、合格通知時に別途お知らせします。

(1) 入学手続期間

令和5年2月14日（火）～2月20日（月） ※必 着

入学金等を支払い、必要書類を「書留・速達」便により、入学手続期間内に必ず到着するように送付してください。

※ 持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

(2) 提出書類

合格通知時に指示した書類及び次の書類

国際地域学科（函館校）、芸術・スポーツ文化学科（岩見沢校）：大学入学共通テストに出願している者は、その受験票のコピー

(3) 納 入 金

入学金 282,000円

- (注) 1 上記の金額は、現行の金額であり、入学時に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- 2 入学金は、入学手続期間内に納入してください。
- 3 納入した入学金は、返還しません。
- 4 入学金については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

## Ⅶ 授 業 料

授業料 535,800円（年額）

- (注) 1 上記の金額は、現行の金額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- 2 授業料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

## Ⅷ 入学時における麻しん（はしか）・風しんワクチン接種歴等の確認について

合格となった場合、入学手続き時に、麻しん及び風しんのり患歴にかかわらず、次の(1)または(2)の書類を提出してください。

(1) 過去に麻しん及び風しんのワクチンを、それぞれ2回以上接種している。

例) MRワクチン2回

MRワクチン1回、麻しんワクチン1回、風しんワクチン1回

麻疹ワクチン2回，風しんワクチン2回  
 ※MRワクチンとは，麻疹・風しん混合ワクチンです。

接種を証明できる書類には，下記のもの該当します。

- ・ワクチン接種の年月日が記録された母子健康手帳のコピー
- ・市町村または医療機関が発行したワクチン接種証明書類のコピー
- ・明細にワクチン接種が記された医療機関の領収書等のコピー

(2) 麻疹及び風しんの抗体検査で，十分な抗体価が認められる。

※EIA法で抗体価が麻疹8.0以上，風しん8.0以上

- ・検査結果の数値が明記されたもののコピー

(1)にも(2)にも当てはまらない場合は，入学前にMRワクチンを接種し，そのことを証明する書類のコピーを提出していただきます。

## Ⅹ 受験に関する問い合わせ

受験に関する問い合わせは，必ず志願者本人が行ってください。(目次の前ページの問い合わせ先を参照してください。)

## Ⅺ 入学後の教育指導体制について

本学では入学後の教育指導を円滑に行うために，次に示す専攻にあっては「分野」の単位に所属することになります。

なお，所属の方法，時期等については，専攻ごとに異なるため，入学後にガイダンス等で説明をします。

課程	修学校	専攻名	分野名
教 員 養 成 課 程	札幌校	学校教育専攻	教育学分野，教育心理学分野
		言語・社会教育専攻	国語教育分野，英語教育分野，社会科教育分野
		理数教育専攻	算数・数学教育分野，理科教育分野
	旭川校	生活創造教育専攻	総合技術教育分野，家庭科教育分野
		教育発達専攻	教育学分野，教育心理学分野，幼児教育分野，特別支援教育分野
	生活・技術教育専攻	家庭分野，技術分野 * 専門高校卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年修了見込みの者の場合，卒業(修了)学科の専門性により入学後の所属分野を制限することがあります。	
釧路校	地域学校教育実践専攻	学校教育実践分野，発達教育実践分野，地域環境教育実践分野，国語教育実践分野，社会科教育実践分野，英語教育実践分野，数学教育実践分野，理科教育実践分野，美術教育実践分野，音楽教育実践分野，家庭科教育実践分野，保健体育科教育実践分野	

(注) 上記以外の学科・専攻等は，1ページの「学部・課程・学科・修学校等」の区分が教育指導体制となります。

## XI 入学試験成績等の開示について

受験者本人の請求に基づき、次の要領により開示します。

開示請求は、直接担当課・グループの窓口で請求する方法と郵送により請求する方法があります。

### (1) 開示請求の手続き等

#### ア 担当課・グループの窓口で請求する方法

受験者本人が、「個人成績開示請求書」に所要事項を記入し、本学の「受験票」のコピーとともに担当課・グループに提出してください。

- ・ 請求期間 令和5年4月10日（月）から6月16日（金）。（土・日曜日、祝日及び6月1日の創立記念日を除きます。）

窓口の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

- ・ 開示方法 請求受理後、担当課・グループの窓口で開示します。

#### イ 郵送により請求する方法

受験票送付時に同封した「個人成績開示請求書」に所要事項を記入の上、本学「受験票」のコピー及び返信用封筒（定形封筒長形3号に住所・氏名等を記入、返信用切手（404円分）を貼付）を担当課・グループに郵送してください。

なお、詳細については、受験票送付時にお知らせします。

- ・ 請求期間 令和5年3月20日（月）から6月16日（金）まで
- ・ 開示方法 令和5年4月10日（月）から6月16日（金）の間に書面で返送（簡易書留）します。

### (2) 開示内容

- ア 合格ランク
- イ 総合評価

- (3) 開示請求先 志望校の担当課・グループ  
「出願受付場所」（5ページ）参照

## XII 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「個人情報保護に関する基本方針」及び「国立大学法人北海道教育大学個人情報等取扱規則」を定め、個人情報の保護に取り組んでいます。関係規則等につきましては、本学のホームページをご覧ください。

- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等に関する調査・研究業務、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

なお、④に関し、調査・研究結果の発表を行う場合、個人が特定できないように処理します。

- (3) 入学者の個人情報は、入学後の①教務関係業務（学籍管理、修学指導等）、②学生支援関係業務（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (4) 入学者の個人情報のうち、氏名、住所に限って、本学関係団体である①北海道教育大学札幌校後援会・同窓会、②北海道教育大学旭川校後援会・同窓会、③北海道教育大学釧路校後援会・同窓会、④北海道教育大学函館校後援会・同窓会、⑤北海道教育大学岩見沢校後援会・同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。
- (5) 上記(2)、(3)及び(4)の業務を行うに当たっては、業務の全部又は一部を本学から外部の事業者へ委託することがあります。委託先に対しては、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。

## 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学部・課程		大学入学共通テストの利用教科・科目名		
		教科	科目名等	
教 育 成 課 部	教 員 養 成 課 程	〔6教科7科目又は8科目〕		
		国語	「国語」①	
		地歴	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」から①	
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から①	
		数学	「数Ⅰ・数A」①	
			「数Ⅱ・数B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から①	
		理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から②又は「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から①	
		外国語	「英語（リスニングを含む）」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から①	
		又は		
		〔5教科7科目又は8科目〕		
		国語	「国語」①	
		地歴	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	から①
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
		数学	「数Ⅰ・数A」①	
			「数Ⅱ・数B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から①	
		理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から②及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から①（ただし、「物理基礎」と「物理」などのように、同一名称を付した科目の選択は認めません）又は「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から②	
外国語	「英語（リスニングを含む）」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から①			

※ 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、次ページの「大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて」に留意してください。

## 大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて

本学では、理科 2 科目は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちの 2 科目を意味し、基礎を付した理科の科目は、2 科目で 1 科目として取り扱います。

### 〈教科・科目の取扱い〉

#### 1 「地理歴史」、「公民」及び「理科」について

「地理歴史」、「公民」及び「理科」から計 3 科目の成績を採用します。なお、「地理歴史」及び「公民」から計 2 科目を受験する場合は、必ず「地理歴史」から 1 科目、「公民」から 1 科目を受験してください。

##### i 「地理歴史」、「公民」及び「理科」で計 3 科目を受験した場合

「地理歴史」、「公民」それぞれ 1 科目及び「理科」1 科目の計 3 科目又は「地理歴史」、「公民」いずれか 1 科目及び「理科」2 科目の計 3 科目を受験した場合は、「地理歴史」において本学が指定していない科目（「世界史 A」、「日本史 A」、「地理 A」）を受験した場合、合格が取り消されますので、十分に留意してください。

##### ii 「地理歴史」、「公民」それぞれ 1 科目及び「理科」2 科目の計 4 科目を受験した場合

「地理歴史」において、本学が指定していない科目（「世界史 A」、「日本史 A」、「地理 A」）を第 1 解答科目として受験した場合、合格が取り消されますので、十分に留意してください。

#### 2 数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」について

この科目を選択することができる者は、次のいずれかに該当する者に限ります。

- (1) 高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者（高等学校又は中等教育学校において専門教育を主とする学科等における専門教育に関するこれらの科目を履修した者）
- (2) 高等専門学校第 3 学年修了（見込み）者のうち、本学でこれらの科目を選択解答することが適当と認めた者

#### 3 外国語の「英語」について

この科目を選択する受験者には、リーディングとリスニングテストの双方を課します。（リスニングテストの受験を免除された者を除く。）

# 北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則

制 定 令和2年3月31日  
令和元年規則第40号

(趣旨)

第1条 この規則は、災害により被災した者の経済的負担を軽減し、進学機会を確保するため、北海道教育大学（以下「本学」という。）の学部、大学院又は養護教諭特別別科の入学者選抜試験（研究生、科目等履修生又は聴講生に係るものを除く。）の検定料（以下「入学検定料」という。）に対する特別措置を定める。

(特別措置)

第2条 次の各号のいずれかに該当する入学志願者であつて学長の許可を受けた者に対しては、納入された入学検定料の全額（ただし、第6号に掲げる者については、学長が別に定める額）を返還する。

- (1) 東日本大震災により自ら又は生計維持者（以下「入学志願者等」という。）の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
- (2) 東日本大震災により生計維持者が死亡し、又は行方不明となっている者
- (3) 東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故により、同事故発生時における入学志願者等の居住地が、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
- (4) 次条の提出期限の日から過去3年以内に発生した次に掲げる災害により、入学志願者等の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
  - ア 入学志願者等の居住地に災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用された災害
  - イ 激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第150号）に基づき激甚災害に指定された災害
- (5) 生計維持者が、前号の災害により死亡し、又は行方不明となっている者
- (6) 学長が特に指定した者

(申請手続)

第3条 前条の許可の申請は、許可を受けようとする入学志願者が、次の各号に掲げる書類又は写し（ただし、前条第6号に該当する者に係る書類については、別に定める。）を添えて、別に大学が定める提出期限の日までに、入学検定料返還許可申請書（別記様式）を学長に提出することにより行うものとする。

- (1) 前条第1号又は第4号に該当する場合 災証明書
- (2) 前条第2号又は第5号に該当する場合 生計維持者の死亡又は行方不明を証明する書類
- (3) 前条第3号に該当する場合 被災証明書

(許可の取消し)

第4条 前条により提出された書面に虚偽の記載があり、又は重要な事実の記載が欠けていることが判明したときは、学長は、第2条の許可を取り消す。

2 前項により許可を取り消された場合は、返還された入学検定料を改めて納付しなければならない。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、入学検定料に対する特別措置に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和2年3月31日から施行する。

なお、本学では上記の規則に基づき、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、「東日本大震災」、「令和元年8月大雨」、「令和元年台風第15号」、「令和元年台風第19号」及び「令和2年7月大雨」など、災害救助法等が適用されている地域において被災した入学志願者に、入学検定料返還の特別措置を行っています。詳細は次のURLの【入試に関するお知らせ】に掲載していますので、ご確認いただき、該当する方は申請してください。

URL: <https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>

## 「北海道教育大学基金」による奨学金について

本学は、次代を担う子どもたちを教育する優れた教員を養成する「教員養成課程」、国際的視野をもって地域を活性化できる人材を養成する「国際地域学科」及び芸術・スポーツ文化を多面的に追求し、地域活性化に貢献できる人材を養成する「芸術・スポーツ文化学科」の一つの課程と二つの学科を設置しています。人材の養成には、教育体制や教育環境の整備の他に、安心して自ら勉学に励み優れた資質・能力を身につけようとする者に対する財政的な支援策が求められています。

「北海道教育大学基金」は、企業、同窓会、地域の方々、本学教職員などからの寄附金により設立され、その原資及び果実を寄附者の方々の意向に基づき、成績優秀な学生や経済的事由により修学困難な学生に対して奨学金として給付等しています。

詳細は、入学後にお知らせします。

### 高等教育の修学支援制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）

令和2年4月から国の新しい修学支援制度が始まり、入学料・授業料の減免（免除又は減額）と給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）の2つの支援をあわせて受ける制度となります。

この支援制度は、世帯の収入などの要件とともに、高校や大学の成績だけでなく、明確な進路意識と強い学びの意欲、学修状況等をしっかりと確認した上で学生に対して支援するものです。

※世帯の収入などの要件により、区分に応じて以下のとおり入学料と授業料の免除又は減額と、自宅、自宅外通学の状況により、奨学金が給付されます。

【単位：円】

	入学料減免額	授業料減免額		給付奨学金給付額（月額）	
		（半期分）	（年 額）	自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分 （満額の支援）	282,000	267,900	535,800	29,200 (33,300)	66,700
第Ⅱ区分 （2/3の支援）	188,000	178,600	357,200	19,500 (22,200)	44,500
第Ⅲ区分 （1/3の支援）	94,000	89,300	178,600	9,800 (11,100)	22,300

※給付奨学金について、生活保護世帯（受けている扶助の種類を問いません。）で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

※第Ⅰ区分：申請者と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

第Ⅱ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

第Ⅲ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること

※ふるさと納税、住宅ローン控除等の税額控除等の適用を受けている場合、各区分に該当しない場合があります。

### 入学料・授業料の徴収猶予制度

経済的理由により、入学料・授業料の納入が困難な場合、徴収猶予する制度があります。

## 日本学生支援機構奨学金について（貸与奨学金）

本学では、日本学生支援機構奨学生募集について、各キャンパスで周知しています。

### ◇ 奨学金の種類と募集時期等（2022年度採用者）

奨学金の種類	採用の種類	募集時期	貸与月額	
			自宅	自宅外
第一種奨学金 【無利子貸与】	定期採用	4月		
	緊急採用	随時	2万円・3万円 4万5千円から選択	2万円・3万円・4万円 5万1千円から選択
第二種奨学金 【有利子貸与】	定期採用	4月	2万円～12万円から1万円単位で選択	
	緊急採用	随時		
併用貸与	第一種奨学金申込みの学力基準を満たしており、経済的理由があれば、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることができます。			
入学時特別増額貸与	第1学年入学者又は編入学者で条件を満たす者に対して、希望により貸与月額の初回振込時に10～50万円（10万単位）の金額から選択して増額貸与を受けることができます。			

#### 【定期採用】

4月頃に本学の各キャンパスにおいて申込を受け付けています。

#### 【緊急採用・応急採用】

家計の急変（主たる家計支持者の失職、破産、事故、病気もしくは死亡等。又は火災、風水害等の災害等）によって奨学金を緊急に必要とする者に対して、随時募集を行っています。

### ◇ 本学の奨学生数

令和4年3月1日現在

校名	学年・種別	1年		2年		3年		4年		計	
		第一種	第二種								
札幌校	学生数	279人		279人		280人		287人		1,125人	
	奨学生数	48人	41人	57人	47人	68人	48人	50人	33人	223人	169人
	%	31.9%		37.3%		41.4%		28.9%		34.8%	
旭川校	学生数	282人		278人		286人		306人		1,152人	
	奨学生数	64人	67人	78人	61人	68人	54人	64人	51人	274人	233人
	%	46.5%		50.0%		42.7%		37.6%		44.0%	
釧路校	学生数	191人		186人		189人		195人		761人	
	奨学生数	55人	49人	55人	42人	61人	53人	57人	40人	228人	184人
	%	54.5%		52.2%		60.3%		49.7%		54.1%	
函館校	学生数	291人		289人		288人		323人		1,191人	
	奨学生数	77人	54人	88人	80人	87人	58人	87人	64人	339人	256人
	%	45.0%		58.1%		50.3%		46.7%		50.0%	
岩見沢校	学生数	184人		188人		186人		197人		755人	
	奨学生数	39人	39人	34人	40人	48人	33人	49人	39人	170人	151人
	%	42.4%		39.4%		43.5%		44.7%		42.5%	
計	学生数	1,227人		1,220人		1,229人		1,308人		4,984人	
	奨学生数	283人	250人	312人	270人	332人	246人	307人	227人	1,234人	993人
	%	43.4%		47.7%		47.0%		40.8%		44.7%	

（学生数は令和3年10月1日現在）